

鳥羽市予算決算常任委員会会議録

第3日目

平成31年3月18日

○出席委員

委員長	戸上 健	副委員長	木下 順一
委員	奥村 敦	委員	片岡 直博
委員	河村 孝	委員	山本 哲也
委員	井村 行夫	委員	中世古 泉
委員	坂倉 広子	委員	世古 安秀
委員	尾崎 幹	委員	坂倉 紀男
議長	浜口 一利		

○欠席委員（なし）

○出席説明者

- ・立花副市長
- ・小竹教育長
- ・濱口観光課長、高浪補佐、小島係長、杉本主査
- ・中山建設課長、中村補佐、吉川補佐、吉川室長、舟橋補佐、奥野係長、鳥羽副室長、中村副室長、永野係長
- ・益田消防長、前田消防次長、鳥谷尾消防署長、家田室長、松井室長、濱口室長補佐、野村係長
- ・世古教委総務課長、寺本補佐、勢力係長、山下係長、岩本学校教育課長、武中補佐、小林係長、吉崎主査、榎生涯学習課長、中村補佐、田畑補佐、村田係長、大矢係長、中村係長、豊田主査

○職務のために出席した事務局職員

次長	
兼庶務係長	上村 純
兼議事係長	

(午前 9時59分 開議)

○戸上 健委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから、予算決算常任委員会を再開します。

本日の審査は、観光課、建設課、消防本部と教育委員会の総務課、学校教育課、生涯学習課です。

では、観光課の当初予算の審査から初めます。

説明資料は89ページから97ページです。

担当課長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話しいただき、そのまま説明に移ってください。

観光課長。

○濱口観光課長 おはようございます。観光課長、濱口です。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、説明の前に資料のほうを出させていたideしておりますので、ご確認をお願いします。

一つはA4のカラー刷りの資料ナンバー1となっているこういった資料がございます。あともう一点、繰入金の対象事業の内訳表というのを提出させていただいておりますので、そちらのほうの確認もよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それではまず、当初予算編成に当たりまして、苦慮した点等につきまして少しお話しをさせていただきますと、やはり鳥羽市におきましての観光振興事業を進める上におきまして、各事業に補助金は非常に大きな意味を持つものと考えております。

それぞれの事業を進めていく中で、これまでの効果、実績、特に貢献度などを考慮しますと、本来であれば拡充、もしくは現状を維持していくのが本来の思いでありましたが、市全体の事業見直しと財政状況を考えますと、枠配分に沿った事業費の振り分けをせざるを得ない状況でありましたので、そのようなことから、各事業を精査した上で、事業分担をした担当職員それぞれの思いであったり、また補助事業者の熱意や効果、また減額による影響、モチベーションなどの低下につながるかなどをいろいろ検討した上で、最新の予算の計上をさせていただきました。

ただ、その中におきまして、政府も進める重点施策といたしまして、今後ますますふえるであろう訪日外国人への対応策につきましては、鳥羽市にとってもやはり注力すべきという強い思いから、インバウンド事業につきましては拡充をした予算となっております。

以上が予算編成に当たっての所見でございます。

それでは、当初予算資料に沿って説明のほうさせていただきます。

説明資料89ページをお願いします。

予算書のほうは164ページから171ページとなっておりますが、もし合わせてごらんいただければというふうに思います。

まず、総務費で、事業区分は3基金積立金、観光振興事業費でございます。観光振興基金への積立額としまして、平成31年度予算額で1億1,765万円を計上しております。ここでは、入湯税の納入額の推移と観

光振興基金の状況についての一覧表となっております。

一覧の真ん中の欄でございます取り崩し額の観光振興分といたしまして、平成31年度では8,439万6,000円を取り崩しまして、各振興事業に充当しております。その内容が、先ほどの資料の2というのが全部この一覧に載っている状況でございます。また、後ほど確認いただければというふうに思います。

次に、下段の観光基本計画管理事業につきましては、平成31年度から3カ年で進める中期アクションプログラムに掲げました八つの基本戦略を着実に進めるため、その評価や進捗管理を進めていく計画であります。予算額は486万3,000円となっております、全て観光振興基金を充当しております。

次ページの90ページをお願いします。

事業につきましては、委託料として中期アクションプログラム管理推進支援事業の業務が主な事業となっております。

次に、90ページ中段をお願いします。

事業区分3観光コンベンション誘致事業でございます。昨年度は事務局体制の強化ということから、専務理事及びインバウンド強化のための専門職員を配置しまして、伊勢志摩広域での活動を進めるための体制づくりを行ったところでございます。予算額は昨年並みの899万2,000円となっております。今年度中に地域連携DMO法人登録を行いますとともに、プロモーション事業、MICEの誘致事業、フィルムコミッション事業などを進めるとともに、インバウンドのさらなる誘致、誘客に向けた取り組みを進めていく計画でございます。

次に、下段の観光振興事業では1億930万4,000円の事業費を計上しております。昨年度事業費と比較しますと、全体で750万円ほど縮小となっておりますが、ほとんどの事業につきまして継続した事業を進める計画となっております。ここでは、観光客の誘致促進を柱に、受け入れ体制の強化、県内外へのPR等を進めるための補助金や負担金を合わせました事業費を計上しております。ただ、負担金事業につきましては、全て継続する事業でございましたことから、事業費の説明はございませんので、ご了解をお願いいたします。

まず、臨時職員といたしまして、引き続き1名を雇用いたしまして、セールスプロモーション活動や誘客促進などを行います。

次に、91ページの上段になります。

観光協会への補助金といたしまして850万円、昨年度より200万円ほど減少をしておりますが、引き続き協会が実施する漁業と観光の連携事業や文化芸術支援への補助などを行います。

次に、鳥羽みなとまつり大会への補助金770万円ですが、鳥羽市最大のイベントとして毎年多くのお客様でにぎわう大会になってきております。みなとまつりにつきましては、昨年警備費の充実として上乘せがされたところでございますが、新における補助事業の全体の見直し等によりまして補助金は100万円減少となっております。その対応といたしまして、実行委員会との効率的な連携のもと、運営事業費の見直しや新たな協賛確保に向けた取り組みなどを行いまして、それでカバーして例年同様の事業費維持を図りたいというふうに考えております。

次に、地域ブランド化確立支援事業の補助金としまして195万円を計上しております。引き続き海女・離島文化、芸術系大学との連携事業を進めますとともに、江戸川乱歩を中心とする市街地周遊促進を図ります。

観光振興事業の説明の冒頭でも述べましたが、説明資料の中には負担事業の説明はございませんが、これまで続けておりますTV番組制作事業であったり、セントレア空港等を結んだ伊勢志摩エリアへの誘客促進のための広域連携事業、また、V I S I T伊勢志摩事業なども引き続き進める計画でございます。

次に、91ページ下段の観光施設維持管理事業でございます。全体事業費は653万1,000円となっております。昨年は佐田浜公衆トイレの解体や樋の山公衆トイレの改修など工事費がございましたが、今年度につきましては、市内6カ所の公衆トイレと足湯、近畿自然歩道の維持管理経費などとなっております。

92ページのほうをお願いします。

上段のホスピタリティ戦略事業につきましては、事業費296万5,000円となっております。鳥羽市を訪れる観光客におもてなしでの魅力による誘客を行うために、観光事業者への研修会の開催であったり、繁忙期のボランティアガイドによる観光案内や、車椅子、ベビーカーの貸し出しなどによる観光促進事業などについて、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターなどのお力をおかりいたしまして進めていく予定でございます。

下段の観光基本計画推進事業の旅行商品・プロモーション戦略事業です。事業費は1,689万2,000円となっていて、昨年度より870万円ほど減額となっております。昨年度は福祉と観光の連携による市民就労促進事業といたしまして、厚生労働省の補助を受けまして、雇用実態におけるミスマッチの解消に向けた取り組みを進めるための事業費補助や、海女文化情報発信番組制作事業など合わせまして700万円ほどの事業費が減額となったものでございます。今年度は少し減額となった事業もございますが、全て継続事業として進める計画であります。まず、海女ノベルティ制作といたしまして、今年度は外国人観光客に人気のあるポストカードやマグネットなどの制作を考えております。

次に、93ページの上段をお願いします。

宿泊業就労体験バスツアー事業200万円を計上しております。宿泊事業者の人材不足の解消に向けまして、引き続き市内外からの若者を募るバスツアーの実施を行います。

次に、民間企業連携誘客促進事業400万円を計上しております。全日空の情報発信のコンテンツを活用いたしまして、鳥羽のプロモーション、誘客促進を図ります。具体的には機内誌への情報掲載やディスプレイ広告発信などを行う予定であります。

また、補助事業では、鳥羽市広告宣伝委員会によります広告宣伝事業につきましても、地方創生推進交付金のほうを活用いたしまして、アートやインバウンドに重点を置いた広告宣伝を引き続き進めていく計画でございます。

次に、スポーツ観光推進事業につきましては、実績もふえてきておりますことから、2021年の三重とこわか国体の開催に向け、引き続きPRを行い、スポーツ合宿など利用拡大に向けた取り組みを進めていきます。

93ページ下段の観光魅力アップ事業、次のページの94ページの離島の魅力創出事業、花を活かした歓迎空間づくり事業につきましても、継続事業として引き続き進めていきたいと考えております。

また、新規事業といたしまして、離島の魅力創出事業で、離島多言語観光案内アプリ構築事業ということで、離島活性化交付金を活用いたしまして、通信機器の位置情報を活用した市営定期船の乗り方や観光案内を行うアプリを構築いたしまして、今後の若者や外国人観光客など、新たな客層への利用促進と離島への誘客につなげていきたいというふうに考えております。事業費は266万3,000円を計上しております。

次に、95ページの漁業と観光の連携事業につきましては、昨年度より140万円ほど減額の予算額407万9,000円となっております。引き続き漁業と観光の連携事業としてアワビの増殖、答志トロさわらの販路拡大、また、鳥羽ざかなの魅力向上事業として、料理研究家との連携事業を進める計画であります。全体事業のうち、アワビ増殖に関する事業部分につきましては、地方創生推進交付金のほうを活用しております。

次に、下段の芸術を活用した観光振興事業につきましては、事業費504万9,000円で、去年はアート作品の記録集の制作やワークショップ、公開制作などの実施をしまして、事業費の半分を地方創生交付金を活用した事業を実施しております。今年度も引き続き第2次観光基本計画に沿いまして、鳥羽うみアートプロジェクトを実施し、作品展示やワークショップ、SNSを活用した情報発信と記録集の冊子の制作などを進めていきたいというふうに考えております。

また、交通整理、駐車場対応等、課題も多くありましたが、多くの方々が来場して好評でありました旅するマーケットumineにつきまして今年度も開催をいたしまして、芸術を生かした観光振興につなげていきたいというふうに考えております。

次に、96ページをお願いします。

上段の中心市街地の賑わい・魅力創出事業につきましては、事業費は300万円で、昨年度より100万円ほど減少しております。昨年8月に設置をいたしましたハートTOBAの周遊効果をさらに磨きをかけ、中心市街地への誘客につなげるため、プロジェクションマッピングやイルミネーションを実施します。また、ハートTOBAのグッズ制作も行う予定でございます。

次に、下段のインバウンド対策事業でございます。今年度は事業費1,966万9,000円を計上いたしまして、昨年度より大幅に強化を行っております。特に新たな試みといたしまして、海外での情報発信として、文化の発信の中心であるフランスにおきまして海女文化の魅力発信を進めていきます。また、フランス国営放送を招聘し、海女文化を芸術、健康、食文化の観点から番組制作を行い、フランス国内での放映を行う予定でございます。また、番組放映にあわせまして、パリ市内でジャーナリスト等への鳥羽市のプロモーションを行う計画でございます。

また、委託費のインバウンド対策事業といたしまして、次のページになりますが500万円を計上しております。引き続き鳥羽商工会議所に委託をいたしまして、外国人観光客の受け入れ体制の向上のための現地視察ツアーや商談会、情報発信などを行います。

次のページ、97ページでございます。

負担金といたしまして、伊勢志摩観光コンベンション機構での伊勢志摩広域におけるインバウンド対策を進めていくための事業費300万円を計上しております。ここではトラベルマートやASEANの商談会など参加や、ファムトリップや外国人観光客へのマーケティング調査などを進める予定でございます。これまで、インバウンド対策事業を進めてきましたが、伊勢志摩鳥羽インバウンド対策協議会が今度は伊勢志摩観光コンベンション機構へと、インバウンド事業の主体が移行しましたことから、これまでの実績であったりノウハウ、つながりを十分生かした取り組みを進めていければというふうに考えております。

また、新規事業といたしまして、クルーズ船の受け入れ対応と充実の強化を図るため、本年1月に設立をい

たしました鳥羽港クルーズ船誘致受け入れ協議会への負担金100万円を計上しております。特に外国船籍のクルーズ船の鳥羽港入港への対応を強化いたしまして、鳥羽市内はもちろんのことでありますが、伊勢市、志摩市、南伊勢町にも協力をいただきまして、伊勢志摩広域での受け入れ体制を整えまして、誘客と地域の消費拡大に向けた取り組みを進める予定でございます。

以上が平成31年度におけます観光課の事業の説明でございます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○戸上 健委員長 説明が終わりました。質疑に入ります。

初めに、ご質疑いただく範囲を指示いたします。説明資料89ページの観光振興事業から、91ページの観光施設維持管理事業までの範囲で、ご質疑はございませんか。

世古委員。

○世古安秀委員 91ページの観光振興推進事業の中での補助金として漁業と観光の連携促進、アワビの大型化実験とか種苗放流というふうに出ております。ことは先般の常任委員会の中でも水産のほうから、安楽島でやった実証実験は非常に成果があるというふうに聞いておりまして、さらにこれはぜひ進めていただきたいというふうに思いますけれども、去年のこの補助金の金額とことしの金額と見ると、若干ちよっと減額されているというふうなところも見受けられるんですけども、その辺の理由というか、減額の理由というのはどういうふうに考えておられますか。

観光課長。

○濱口観光課長 この部分につきましては、市の観光協会へ補助金として出している部分でございまして、全てが漁業と観光だけではなくて、観光協会が行います全体の事業の減額というか、全体を落としておりますので、漁観連携の部分が落ちたという全部の内容ではございませんので、そのようにご理解いただければと思います。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 わかりました。ほかのところでの、全体的なところでの減額というふうなことですけれども、ぜひこれも実証実験で成果が、小さいアワビを中間育成して大きくするということは、実際に各地区へも、もう漁港へも放流をして、しているのですので、本当に2年、3年後は楽しみだなというふうに思っていますので、この事業に関しては、ぜひまた前向きな進め方をしていただきたいなと思います。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 僕も観光振興推進事業の補助金、市観光交通対策協議会20万円、この内容、どういう協議を行われているのか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 その部分につきましては、ゴールデンウィーク、お盆、正月の臨時駐車場のほうの。臨駐のひだまりの前でやっている事業の部分で、大半が遊覧船を頼んでいる部分の費用というふうに理解いただければというふうに思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱり市観光交通対策、観光協会も旅館組合も出てきておると思いますが、この土日、8時にもうタクシーがないんです。そやけど、この中見ておると、夜の事業がどんどんふえて、きのうでさえもう8時にないんですよ。

ただ、ほかの飲食店やっておる事業者の中には、自分のところで車を用意して、運転手用意して、それでやろうと思ったらやっぱり350万円から400万円要るんよ。そういう話は何でできへんの、ここで。ちょっと待って。

それと、やっぱり1番は350万円から400万円出そうと思ったら2,000万円の売り上げが必要なんよ。それぐらいわかるやん。魅力アップをどんどん、インバウンドもどんどんして、結局観光客が鳥羽へどんどん来ても、夜のまち歩けない、見に行けない、ここで何でそういう協議が行われへんの。1回でもあった。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 尾崎委員言われる部分につきましては、別のところでタクシーについての対策であったりというのを協議しておりまして、ここの予算の部分ではそういった内容の事業にはなっておりませんので、そのあたりはご理解いただければというふうに思います。

タクシーの件につきましては、今、観光課も入っていますが、企画課を中心に今いろんな対策、対応について協議を進めておりますので。あと、定期船の交通、担当する運営の会議がありますので、そちらへも協力いただきまして、今進めておるところでございますので、そのようにご理解いただければというふうに思います。

○戸上 健委員長 そうすると、尾崎委員の質問した夜間の観光客の足の確保、タクシーの強化については、さっき観光課長の説明では別途別のところで企画財政を中心にとしたことだったけれども、それはこの予算に計上されておるのでしょうか。今年度予算に計上されておりますか。それとも検討が始まったという段階でしょうか。

観光課長。

○濱口観光課長 予算のほうは盛っておりませんが、企画財政課と観光課と定期船課と入りまして、ワークショップじゃないですけども、いろいろ検討する場を設けて、予算を使わずに今やっている状況でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員、そういうことですので、予算にはまだ計上していないという。

○尾崎 幹委員 最後にもう一点、企画がそれを考えておるのはありがたいことなん。ただ、観光課だけじゃなしに、農水でも夜のまちづくりをするためにいろいろな補助金を出しておるんですよ。その方々が夜の店を商売し始めたとしても、お客さんが帰る足がないという、やっぱり来られないわけです。だから、閉めざるを得へん店が今後どんどんふえます。もう何軒閉まっておるか知っておると思いますが、そこら辺を補助金出して店させといて、後のことがフォローできないならやめるべきやと。

そういう感覚持っていますので、観光課だけじゃなしに、本来企画で言うべきやったんやけれども、観光予算でこの交通体系があったもので、質問させてもらっただけで、これは本当に致命傷ですよ。あらゆるソフト、いろいろなことを考えておっても、そのお客さん来たときのお客さんの受け皿ができていないということが一番に考えてください。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 同じところの提出をしてもらった説明資料の中で、観光PR素材撮影用デジタルカメラの購入というところで40万円ほど上げていただいているんですけども、これの詳細を教えて、用途ですとか、何かPR素材とかとは、何となく外に頼んで撮ってもらってしておるのが、これから自分らでそういうことをしていくのかとか、その辺を。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 備品で今回いいカメラのほうを購入させていただきます。実は、昨年度しろんご祭であったりいろんなイベント、観光課携わっていきまして、個人のカメラをずっと使用しておりました。その辺がありまして、今ちょっと情報処理にたけた職員も1人おりますので、そこら辺で若い職員が中心になって映像の加工も全部自分のところで行えるようになりましたので、ちょっといい品質のカメラを購入いただきまして、今後の情報発信につなげていきたいというふうに考えておりますので、今回計上させていただきました。

○山本哲也委員 ありがとうございます。

○戸上 健委員長 山本委員、よろしい。

○山本哲也委員 はい。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

ご質疑もないようですので、続いて、説明資料92ページのホテルタリテ戦略事業から、94ページ花を活かした歓迎空間づくり事業の範囲でご質疑がございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 94ページの花を活かした歓迎空間づくり、これは委託になるんですよね。もう決まっているんですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 これは委託で、今年度は見積もりのほうをいただきまして、業者を選定しております。

○戸上 健委員長 委託でいいんですね。

○濱口観光課長 委託です。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 去年と一緒にですか。

○戸上 健委員長 委託先がですか、尾崎委員。

○尾崎 幹委員 はい。

○戸上 健委員長 委託先が去年と同じか。

観光課長。

○濱口観光課長 まだちょっと契約はしておりませんので、ちょっとどこができるかというのは、またこれから契約になると思います。

○戸上 健委員長 わかりました。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ただ、去年はこの倍出ておったのさ。そこです。去年より半分の取り組みでいいと考えたところら辺のやっぱり消極的になった理由は何なんですか。

○戸上 健委員長 杉本主査。

○杉本主査 観光振興係、杉本です。よろしくお願いします。

先ほどの尾崎委員からのご質問に対してお答えいたします。

昨年度と比べますと、確かに事業費少なくなっております。少なくなった部分というのが、今回の事業、花の苗を植栽する部分と維持管理の部分と二つありまして、維持管理の部分でかなり減額になっております。維持管理の部分は主に水やりであったりとか、枯れた苗を刈り取るという業務になるんですけども、こここのころの日数を精査しまして減額となっております。

以上です。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 杉本君、担当しておるわけやんか。最低のお金で最高の成果を出したいという杉本君の気持ちはよくわかるけれども、これをやっぱり成果として次の段階で認められやないかん。そういう要素をもうしっかりと持っておるか。

○戸上 健委員長 激励です。

○尾崎 幹委員 激励なんです。

○杉本主査 ありがとうございます。おっしゃるように……

○戸上 健委員長 尾崎委員、続けて質問ありますか。

○尾崎 幹委員 もうこれだけ。それだけ、ちょっと一言。

○戸上 健委員長 観光課長、答弁してください。

○尾崎 幹委員 いや、杉本君。担当しておって、何かかわいそうで。下げることはばかり言われているだけやでさ。

○戸上 健委員長 杉本主査。

○杉本主査 おっしゃるように、この花を植えている場所というのは観光地である鳥羽の玄関口になりますので、ここを花で鮮やかに彩ることが観光客へのおもてなしにつながるといいますので、今後も成果が出るように、この事業をしっかりと推進していきたいと思っております。

以上です。

○尾崎 幹委員 頑張って、申しわけないけれども、すまん。

○戸上 健委員長 尾崎委員、よろしいか。

○尾崎 幹委員 はい。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 93ページの旅行商品・プロモーション戦略事業のところの民間企業連携誘客促進事業の400万円のANAの部分なんですけれども、インバウンド向けの機内誌への掲載が1カ月、それとディスプレイの広告配信も1カ月、1カ月で400万円という結構大きな金額の広告になるのかなというふうに思うん

ですけれども、これ、継続ということで、ある程度の手応えをつかんだ中、そのまま残されたのかなというイメージがあるんですが、その辺の費用対効果ですとか、400万円使えば結構なところが見込めるので、その手法としての精査とかという部分をどのようにされて、今回もこの金額を計上されておるのか、ちょっとその辺の部分をお聞かせください。

○戸上 健委員長 杉本主査。

○杉本主査 山本委員からのご質問にお答えいたします。

今年度ANAとの事業で400万円計上しているわけですが、27年度からANAさんとは事業連携しております、毎年ANAさんの違った広告媒体というものを使用して情報発信を行っているところであります。

ANAさんの29年度の利用者実績というのが、4,900万人の方がANAを利用されていることから、ANAの広告媒体を使うというのはかなりの情報発信力があると思っております。

そういったことから、今年度も引き続きANAとの事業連携の予算を計上したところであるんですが、実際にこの400万円というのは、かなり予算額としては大きい内容だと思っております。実際に、この情報発信したお客様が鳥羽にどれだけ来ているかというところまでの精査は正直できてはいないんですが、例えばこの機内誌に関しましても、1カ月間今回掲載する予定なのですが、1カ月の利用客数、国際線でいきますと76万人の方が利用されて、ANAのデータでいくと76万人のうち72%の人がこの機内誌を手にとって見るというデータが出ておりますので、実際に情報発信力、また、そのお客様にこの情報が届くということに関して、金額は高いんですけれども、効果はあると見込んでおります。

以上です。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ありがとうございます。月76万人のうちの72%が手にとっておられるということなんですけれども、言いたいのは、そのターゲットですとか、無作為にその76万の72%に打ってもしようがないのかなというふうに思うんです。

どういう方にとって鳥羽が魅力的なのかとか、その辺の絞り方というのがもっと何かあるんじゃないかなというふうに思っています、ただ数の分母が大きければというようなところでもないのかなというのをずっと思っているところでありますので、言っておられたように精査がしにくい部分、効果測定がしにくいんですね、400万円を使っている割には。

なので、その辺というのは、僕はもうちょっと新しいまた次のアイデアのほうに進めても、もういいのかなというように感じています、ぜひぜひその辺をもうちょっと意識してほしいところかなというふうに、せっかくこれだけのお金を使うので。

できるんやったら、効果測定できるのが一番いいのかなというふうには思うんですけれども、手応えをつかめへんままふわふわした状態でこの結構な金額を出されるというところが、もっと出すんやったら自信を持って、これはこれだけのお客さんが見て、鳥羽に興味を持っていただいている反応があるとかという武器を持って出してほしいところかなというふうには思いますので、ぜひ何かそういう手応えの部分でもちょっと工夫をとってほしいなというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 要望です。

決算で検証結果、前年比、前年投入した費用に対するこれだけの効果があったというのを、委員が納得できるような、かなりというのではなくて、抽象的なものじゃなくて、具体的な数字で明らかにできるように努力してください。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、続いて、説明資料95ページ漁業と観光の連携事業から96、97ページのインバウンド対策事業までの範囲でご質疑はございませんか。最後までです。

世古委員。

○世古安秀委員 96ページの上のほうの漁業と観光の連携事業です。

先ほどちょっと話聞かせていただきましたけれども、そこにも書いてありましたので、そのときにちょっと聞かせていただいたんですけれども、これ先ほど言うたようにアワビの増殖ということで成功しており、進めてほしいというふうに先ほど言いましたけれども、この中で、アワビの付加価値をまた高めて情報発信するというのが大事なのかなと。この中では、トロさわらのことに関してはいろいろと販路拡大とかセールスというふうにしていますけれども、アワビについても例えば健康に、栄養学的にもこういう価値がありますよというようなことも研究して、鳥羽のアワビを食べたら健康にこういうふうなところがありますよという、いいところがありますよということも一つのPR材料になるのかなと思いますけれども、この事業の中では、そういうことに対してのいろいろな検討というふうな話はありませんでしたか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 高浪です。よろしくお願いします。

アワビに関しましては、漁業と観光の連携事業の中では、まずは大型化、それから漁獲量の拡大が一番の大きなテーマになっておりますので、今はそれを中心に取り組んでおりますが、世古委員言われましたように、アワビの付加価値、アワビというのは今でも価値がある魚介類にはなるんですけれども、付加価値をつけるために健康とか、美容とか、そういったことにも取り組んでいく必要があるかと思いますが、健康にいいというような検証をする、いわゆるエビデンスをとるとするのは非常に時間とお金がかかることではございますので、実際にそういった検証をとるのか、それともいろんないわれがございまして、アワビを妊婦さんが食べると目のきれいな子が産まれるとか、そういったいわれもございまして、そういった活用もしながら、付加価値を高めていきたいというふうには思っております。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 今後、先ほど課長補佐が言われたように、アワビというのは、妊婦さんが食べると目のきれいな子供が産まれるとか、それから妊婦さんが産後の後食べると体の回復が早いとか、さまざまな健康面での言われておりますけれども、それをやっぱりきちんと検査して、データとして、例えば大学の人に調べてもらってという、明らかになるということがまたプラス、アカモクでもそうですけれども、あれはもう研究によっていろんな健康の効果があるというふうに出ましたので、非常に今人気になっております。それも同じように、

アワビもぜひ将来的にはそういう方面で研究していただきたいというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 要望ですね。

○世古安秀委員 はい、要望です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 この事業の中で、去年までは未利用魚の活用が入っていたと思うんですけども、これほどここの事業の中には含んでいるものなのか。それが1点と、水産資源を活用した体験メニューづくり及び販売というところも、昨年までこの事業の中に入っていたと思うんですけども、これに書いていないだけで引き続き進めていただくという解釈でよろしいのか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 書いてはございませんけれども、この中で検討とか継続してやっていきたい。あと、その漁業体験ですが、今鳥羽商船さんと連携をしながらICTを活用した漁業体験なんかも検討しておりますので、新しい取り組みができると思います。

以上です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 ぜひ私一般質問をさせてもらったので、その辺はぜひ担当課と連携しながら進めていただきたいと思うのが1点と、もう一つなんですけれども、鳥羽さかな魅力向上事業の中で、料理研究家等との連携、ちょっとおもしろいと思うので、具体的に今考えていることがあれば、その事業の内容をもう少し詳しく教えてください。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 料理研究家、発酵ということをテーマにした料理研究の方とつながりがございまして、今回の海藻文化祭、3月24日に開催されますが、そこでも料理研究、その方来ていただくことになっておりますけれども、引き続き発酵ということをテーマにした何かしら事業ができればというふうに考えております。

以上です。

○河村 孝委員 はい、わかりました。

○戸上 健委員長 河村委員、よろしいですか。

○河村 孝委員 はい、以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 委員長、すみません、先ほどちょっと聞き忘れたので。

そこの漁業と観光の連携事業の中で、一番下のほうにその他、同協議会にて三重県より海女文化継承事業を受託予定というふうに書かれておりますけれども、これについてちょっと説明を願えたらいいかなと思うんですけども、お願いします。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 漁業と観光の連携事業、三重県のほうからも注目をさせていただいておりまして、来年度、三重県の水産部門のほうから受託事業を受ける予定がございまして、小さな金額ではございますが、海女の所得向上

に向けた受託を受ける予定になっております。

内容は三重県と今連絡を取り合っているところですが、来年度の委託を受けるわけですので緊張をしておりますけれども、しっかりとそれに向けてやりたいというふうに思っております。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 ありがとうございます。漁業と観光の連携事業につきましては、下に書いてある財源、地方創生交付金をいただいておりますけれども、それにプラス今回県のほうから海女文化継承事業の受託をいただくということで、金額をまだはっきり言っていなかったですけれども、そういうふうに財源をやっばり確保しながら、ぜひこの漁業と観光の連携事業、進めていただきたいというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 奥村委員。

○奥村 敦委員 97ページのインバウンド対策事業の中のクルーズ船誘致受入協議会の内容ですけれども、この中に多言語支援とWi-Fi環境整備ということ書かれているんですけども、支援の具体的な内容とWi-Fi環境整備、どのような整備をされるのか、お伺いしたいんですけども。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 この事業につきましては、離島の魅力創出事業のところにも一つございますんですが、多言語案内とかそういったものができないかということで、アプリのほうをそちらのほうで進めまして、まず一つ進めます。

もう一点がクルーズ船でWi-Fiの関係が、先般12月9日にダイヤモンド・プリンセスが到着したときに、実はパンクをいたしまして、Wi-Fiが。聞いたところ、ちょっと容量が少な過ぎたというのもございまして、そこら辺を今回もう対応策を取りまして、なるべくつながるような体制をとりました。

なおかつ、今年度につきましては、もうプラスアルファの対応をちょっと今考えておまして、ターミナル付近であったり、ちょっとこちらの城山のあたりまで拡張させたモバイル的なWi-Fiの対応ができないかということで、今進めているところでございます。

○戸上 健委員長 奥村委員。

○奥村 敦委員 わかりました。すみません、ありがとうございました。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 インバウンド対策事業の委託料の内容なんですけれども、パリでジャーナリストでテレビ出ておいた後、パリの市役所を訪問するんですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 市役所のほうに訪問するかどうかというのはこれからだと思うんですが、あくまでも放映していただきました内容と、あとあちらのほうでジャーナリスト等と面談をいたしまして、鳥羽の海女であったり、いろんな部分のPRのほうをやるということで、まだちょっと詳細な部分はまだ細かく詰めてはおりません。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 国営放送でやっぱり宣伝していただくわけなんですから、まずは海女さんの、三代海女のポス

ターぐらいはパリ市役所の中に張っていただくとか。私のマーケティングの中の情報によりますと、課長には申し上げた話なんやけれども、やっぱり向こうもインバウンドをやっておるわけですよ。魅力をと。なぜそういうところとうまいことコラボしたら、お互い相乗効果はあるんですよ。

それだけでなく、それをやっておるのが京都、箱根、高山、その内容は伝統文化なんですよ。パリのほうで魅力あるのはやっぱり伝統的な工芸品、それと伝統文化が潰れそうなものに関して、今パリの市民らはすごく魅力を感じておると。だから、その三つへ行くと。そういう情報まで入っています。向こうでインバウンドをやっておる、特に親戚おるもんで、僕。うまいことそれがインバウンドやっておるんですよ。

そういう流れを聞いておると、国営放送でやるけれども、やっぱり役所へ行くことが一番大事やと。そういう話まで聞いていますから、あと3,000万円ぐらいつけてもいいから、しっかりと。行くなら成果を求めてほしい。行ってきたよでは、旅行じゃないですか。観光協会の会長、しっかりとその土台をつくってきたいと言うておるんですから。

たかだか800万円で土台ができるんやったら、全国でやっておるわけですよ。何遍も言いますが、高山市を考えてもらえれば、やっぱり長年やった中で投資しておる金額いうたら、もう800万円はよだれじゃないかなというぐらいの低さ。そこら辺をしっかりと考えて、今後やっぱりやっていただくならば、次の段階も同時にしていただいて、それに対する予算は補正でつけたらいいんです。議員さん、みんなつけてくれます。よろしくをお願いします。

○戸上 健委員長 答弁する。提案や。

観光課長。

○濱口観光課長 三代海女のポスターであったり、そのあたりはもし可能であればそういった情報発信はしていきたいと思えますし、当然歴史的な部分で海女文化というのも大々的に発信できるような、いろんな方策をとっていききたいというふうに考えております。

○尾崎 幹委員 消滅するかわからん、消滅するものに魅力があるのよ。お願いします。

○世古安秀委員 委員長、関連でお願いします。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 今回、フランス、パリを訪れて海女文化、そして鳥羽市をPRするということと、それからフランスの国営放送の人を招いて鳥羽でいろいろな撮影したものを、また向こうのほうで放映するという事なんですけれども、これ課長、フランスというのは、今回出してきたのは、なぜフランスのほうへターゲットをしようというふうに考えたのか、その辺ちょっとお聞きいたしたいと思えます。

○戸上 健委員長 観光課長、なぜフランスか。

○濱口観光課長 お答えします。

これまでいろいろ鳥羽の観光施設、ミキモトであったり、あと、これまでやってきましたファミトリップ、現地視察ツアーなどを見ますと、やはりフランス人のジャーナリストであったり観光客が物すごくふえております。多いです。

そのあたりもあって、多いというのもあります。また、海女というのがすごくフランスで非常に好評であるということを開きまして、海女文化は絶対フランスで受けるだろうという情報も得たことから、今回、ミキモ

トの情報であったり、いろんなことを複合的に考えまして、フランスの事業を展開しようというふうな判断をしております。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 わかりました。フランス人が鳥羽へ来る観光客も多くなってきておると。先般、ちょっとミキモトの社長とお会いしたときに、やっぱりフランス人がふえてきていますよということもおっしゃってましたので、それは私はフランスをターゲットにしてするということがいいことだなというふうに思うんですけども、あと、こっちの資料ナンバー1のところ、上のほうのところに海女文化海外情報発信事業800万円は、今話しているところですけども、その中にフランス国営放送での海女文化の情報発信、パリ市内で海女文化トークショーの開催、旅行会社等への市長のトップセールスというふうに書かれておりますけれども、向こうへ行って海女文化のトークショーをしたりするわけですけども、鳥羽のほうからフランス、パリへ行く人というのはどれぐらいの人数を考えているのか、その辺はどうですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 今、市の予算でいきますと、市長含め職員2名分の旅費を盛っているところです。あと、観光協会さんのほうが何人ぐらいというのはちょっと細かな数字はまだ持っていませんので、私のほうで何人というのは、今のところは情報はないです。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 3名は市のほうの関係者から行くと。あとは委託先の観光協会とかいうふうの何人か。それと海女さんがやっぱり行かんと、これはもういかんということですから。

それと、もう一つはこれどこまで話が進んでいるのかどうなのかわかりませんが、先ほど話がありましたように、やっぱりミキモトグループというのは世界のミキモトですから、一緒にやっぱり今回パリへ行くにしても同行していただいて、連携をして、やっぱりやっていくべきであるというふうに私は思いますけれども、その辺については、課長、どうですか。

○戸上 健委員長 そこまで詰まっておるのか。

○濱口観光課長 そこは私のほうで言うていいのかなという。市の部分は市長と職員が行くということで、外部の団体がどういうふうになるというのは、ちょっと私のほうでは答えかねます。

○世古安秀委員 委員長、わかりました。それはまた要望にとどめておきますので。

○戸上 健委員長 よろしいか。

○世古安秀委員 はい、以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 すみません、関連で。

今回フランスということで、出しておられるということなんですけれども、尾崎委員とちょっとかぶるところもあるんですけども、これを言ったら、長い目で見ての第1歩と捉えていいのかなというところをお聞きしたくて。

今回800万円入れて、来年度はいきなりもうゼロになって、もうしませんということやと、僕は余り意味

のないことなのかなというふうにも思うので、なかなかこんだけやったからといって知名度が一気に広がるかと言うたら、そうでもないというところは思いますので、こういったのはやっぱり継続して地道に少しずつでも打っていかなあかんの違うかなというので、その辺を考えられての第1歩なのか、その辺はどうなんでしょう。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 まさにおっしゃるとおりで、第1歩という感覚でおりまして、次年度につきましても引き続き継続的に何らかの形で続けていきたいというふうに考えております。

また、うちの鳥羽市だけで限らず、今、コンベンションのほうも足並みそろえて続けてやっていこうという方向で、欧米豪を中心に展開していこうという方向でおりますので、形的には今回で終わるのじゃなくて、引き続きやっていきたいというふうに考えております。

以上です。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 折り返しの質問で、そのコンベンションのことを聞こうかなというふうには思っておったんですけども、伊勢志摩としても意思統一本にさせていただいて、魅力あるコンテンツの発信とかという部分をフランスのほうでしていただくようにしていただければ、コンベンションにすることで、大きな事業を、大きなお金が使えるようになるかもしれませんので、その辺はしっかりと意思統一させていただいて進めていただければなというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 委員長、すみません、先ほどちょっと聞き忘れたんですけども、97ページの一番下のほうに主な財源というふうに書かれておりまして、一般財団法人自治体国際化協会の助成金400万円というふうに書かれておりますけれども、この内容について、ちょっとこれ初めて見る文字ですので、どういう団体なのかというふうなところをちょっと……

○戸上 健委員長 世古委員、助成金の中身ですか、それとも団体ですか。

○世古安秀委員 内容を教えていただきたい。

○戸上 健委員長 観光課長。

○濱口観光課長 この助成金につきましては、自治体に対して国際化協会という団体クレアというところがございまして、そこへ文化発信の事業につきましていろいろ情報を投げかけて申請をしたところ、うまくこれがとれそうところで、2分の1の助成をいただけることになりまして、パリでのそういった情報発信、歴史文化発信という形で行くということで申請をいたしましたところ、補助金のほうがとれましたので、これを活用しようということにとれた事業でございます。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 わかりました。これ800万円のうちの400万円、2分の1補助ということで新たな財源というか、そういうふうなものも確保していただいたということで、評価をしたいというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 観光課長、このクレアの補助金というのは、これまでで初めてというふうに理解していいんですか。

○濱口観光課長 はい。

○戸上 健委員長 わかりました。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、説明員交代のため休憩します。

11時まで休憩します。

(午前10時55分 休憩)

(午前11時01分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

続いて、建設課の当初予算を審査します。

説明資料は98ページから106ページです。

担当課長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話いただき、そのまま説明に移ってください。

建設課長。

○中山建設課長 おはようございます。建設課長の中山です。よろしく申し上げます。

平成31年度の予算編成をするに当たり、精査をしたり工夫した点ということでございますが、項目も多ことから、詳細につきましては説明の中で述べさせていただきますが、生活に直結している道路、公園、市営住宅等を管理しております建設課といたしましては、市民の方々の生活に影響がないようにするとともに、必要不可欠なハード整備等については、前向きに進めることを考えた上で予算を組ませていただきました。

厳しい財政状況の中で、経費削減を行いました。経常経費につきましてはわかりにくい部分もあるとは思いますが、事業全体の支出を見直し、消費増税を踏まえた上で削減を行います。また、政策経費につきましては、限られた国の交付金や地方債等を最大限に活用して、市民の皆様の安全・安心を提供できるよう検討いたします。

予算上の経費の削減も行いましたが、人件費におきましては、本年度の現状での計上となっておりますので、予算書には反映はされておきませんが、実際は臨時職員等を減らすこととしておりますので、決算ベースでは経費削減につながると思います。

ただ、これらの予算を削減したことが原因で市民サービスが低下することのないよう、新年度は室や係にとられず、建設課全体で協力しながら業務を実施して対応していきたいと思っておりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

では、説明に入らせていただきます。

説明につきましては、予算説明資料に基づき説明をさせていただきます。予算書及び事前に提出させていただいております資料を参照していただく形で進めます。

まず、予算説明資料の98ページをお願いします。予算書は62、63ページです。

2款総務費、1項総務管理費、目5財産管理費、事業区分3基金積立金の都市計画事業基金として8,690万1,000円を計上しております。これは、30年度に制定をさせていただきました鳥羽市都市計画事業基金条例に基づき、30年度の都市計画税の収入額から事業及び事業に係る市債の元利償還に充当した額を差し引いた残額を積み立てるものでございます。

次は、予算説明資料の次をお願いします。予算書は176ページ、177ページになります。

7款土木費、1項土木管理費、目1土木総務費で、事業区分1土木給与等管理費の土木一般管理経費では557万9,000円を計上しております。主なものは、市が所有する建築物の建てかえや大規模改修の計画や費用の算定を行う建築物基本構想作成支援業務64万8,000円、平成35年まで分割して三重県に負担金として納付する今回で4回目となります伊勢二見鳥羽ライン無料化負担金2,000万円です。

予算説明資料、次をお願いします。予算書も同様です。

目1土木総務費、事業区分2建築物耐震化促進事業では4,645万円を計上しております。これは、民間の不特定多数の人が利用する大規模建築物の耐震改修費用の補助金と個人木造住宅の耐震化にかかわる事業です。主なものは、委託料として木造住宅耐震診断業務30戸、141万6,000円、補助金としては大規模建築物耐震改修事業費1棟、4,061万4,000円です。この大規模建築物の事業費は2カ年事業となり、2年目に債務負担行為として限度額6,092万2,000円を設定させていただいていますので、合計は1億153万6,000円となります。また、木造住宅耐震補強工事費3戸、330万円、木造住宅耐震補強（リフォーム）補助金3戸、60万円、木造住宅耐震補強設計費補助金5戸、40万円です。

予算説明資料の99ページをお願いします。予算書は178ページ、179ページになります。

目1土木総務費、事業区分3移住・定住促進事業の空き家活用促進事業では366万円を計上しております。これは、空き家バンクや空き家の活用と移住促進を図る事業で、空き家バンク活用促進事業の住宅リフォーム1件、200万円、空き家リノベーション支援事業1件、150万円、空き家バンク活用促進奨励金4件、16万円です。

次ですが、平成30年度までは5款農業水産業費、1項農業費の中の目6として予算計上をさせていただいておりました国土調査費につきましては、平成31年度より、7款土木費、1項土木管理費の目2となりましたのでよろしくをお願いします。

予算説明資料の次をお願いします。予算書も同様です。

目2国土調査費、事業区分1地籍調査事業で3,737万円を計上しております。

予算説明資料100ページをお願いします。また、資料1ページの地図もあわせてごらんください。これは、ご存じのように土地の境界が定まっていな筆が多くあることから、所有者間の合意を得た上で、境界の位置を決めていただき、正確な測量を行い、地籍図や地籍簿を作成して登記記録を改める事業で、31年度は相差13の一部と14地区0.42平方キロメートルの一筆地調査、測量と相差13地区のうち0.36平方キロメートルを地権者に確認をいただく閲覧を行います。主なものは、委託料の地籍調査測量業務2,633万4,000円です。

予算資料の次をお願いします。予算書は180ページ、181ページになります。

2項道路橋りょう費、目1道路維持費、事業区分2道路維持事業の道路維持業務で3,512万1,000円を計上しております。これは、市内の道路の管理を行う業務で、主なものは、委託料として国道42号他歩道維持管理業務220万円、毎年行っている市道草刈業務212万1,000円です。なお、国道42号他歩道維持管理業務につきましては、三重県の管理する国道及び県道について、以前は年2回行っていた草刈りの回数が1回になったことにより、歩道等の草が繁殖し景観を損ねるなどの影響があることから、三重県志摩建設事務所と協議を重ね、安全に作業を行える歩道部分について三重県より委託金をいただき、その金額の範囲で市道とともに年2回歩道の草刈りを行うこととしたものです。また、工事請負費としては市道維持補修工事3,000万円です。

予算説明資料、次をお願いします。

目2道路新設改良費で、事業区分1地方道路整備（交付金）事業では8,179万8,000円を計上しております。

予算説明資料は101ページ、予算書は182ページ、183ページをごらんください。資料は2ページから6ページになります。

これは、社会資本総合整備交付金を活用して、道路の改築や長寿命化を行う事業で、主なものは、委託料として大雨により冠水する市道森崎村山線について、冠水の解消と拡幅や歩道の設置を行うための測量設計業務1,100万円、地質調査業務400万円です。また、長寿命化にかかわるものとして、城山トンネル設計業務及び詳細調査業務300万円、錦橋設計業務500万円、春尻橋外4橋PCB含有量調査業務200万円です。工事請負費としては、立岩橋外1橋長寿命化工事1,300万円、船津3号橋長寿命化工事330万円、錦橋長寿命化工事1,000万円、城山トンネル長寿命化工事2,000万円です。

予算説明資料、次をお願いします。予算書も同様です。

目2道路新設改良費の事業区分2河内ダム関連道路整備事業では3,246万6,000円を計上しております。これは、三重県の実施する鳥羽河内ダム事業の工事中道路とあわせて行う市道改築等を社会資本総合整備交付金を活用して行う事業で、市道杉ヶ瀬北山線外1線について分筆登記業務133万7,000円、道路用地購入に2,000万円、道路改築工事負担金として1,000万円、立木補償100万円です。

この河内ダム関連道路整備事業と前ページの地方道路整備（交付金）事業につきましては、国の社会資本総合整備交付金を使った道路事業ですが、この交付金は、ここ数年申請額に対して50%程度しか配分がされなかったことを、これまで報告をさせていただいております。交付額が減ったことにより予算を認めていただいた事業全てが行えなかったこともあわせて報告をさせていただいておりましたが、平成30年度までは前年度並みの額で申請するようにとのことであった指導が、平成31年度分からは前年度の配分額を上回らない額で申請するよということになったことから、31年度の国への要求額は平成30年度に配分された額での要求としておりますので、予算上の額が減少をしております。

予算説明資料は102ページをお願いします。予算書はそのままです。

目2道路新設改良費、事業区分3道路新設改良事業では4,882万4,000円を計上しております。これは、道路の改良を目的として道路整備等の工事を実施する事業です。主なものは、継続して施工をさせていただいておりました市道赤崎中之郷線道路改良工事300万円で、赤崎神社付近の踏切付近の最終区間です。ま

た、市道棧橋線道路整備工事1,008万7,000円、資料7ページとなります。

予算資料はそのまま、予算書は184ページ、185ページをお願いします。

公有財産購入費として、先日の文教産業常任委員会で市道認定のお願いをさせていただいた案件ですが、岩倉町のJA鳥羽志摩の倉庫奥の既存市道が狭いことから、現在三重県において実施している鳥羽河内川右岸の岩鼻といわれる箇所での河川改修とあわせて、迂回路となる市道新設の要望があったため、三重県設置の河川管理道路を延長して既存市道への接続する部分の用地を購入するものです。

同じ公有財産購入費と補償、補填及び賠償金の市道安楽団地幹線3号についてですが、資料8ページをごらんください。現在三重県で阿児磯部鳥羽線の高丘町において、歩道の新設工事を進めていただいているところでありますが、高丘町とさくらが丘団地入り口付近で歩道の設置を行うに当たり、既存建物に影響があるとともに、現在同箇所で信号が2基設置されていることから、1基にまとめて県道の状態を解消することで、地域住民の長年の要望に応えるため、三重県が歩道部分の費用を負担し、鳥羽市が市道を改良してさくらが丘団地入り口等を一つの交差点とするための費用を負担することとしました。31年度につきましては、この費用のうち道路用地購入費750万3,000円、建物補償費2,759万円となります。

予算説明資料、次をお願いします。予算書も同様です。

3項河川費、目1河川維持費、事業区分1河川維持管理経費で494万6,000円を計上しております。主なものは、河川維持工事の300万円です。

予算説明資料の103ページをお願いします。予算書はそのままです。

4項港湾費、目1港湾管理費、事業区分1港湾管理経費のみなどオアシス事業では13万3,000円を計上しております。旅費5万3,000円と中部みなとオアシス連絡協議会への負担金8万円です。

予算説明資料の次をお願いします。予算書も同様です。

目1港湾管理費、事業区分2港湾負担金事業の県施行港湾事業負担金では506万6,000円を計上しております。佐田浜埠頭用地造成事業償還金506万6,000円です。

予算説明資料の次をお願いします。予算書は186ページ、187ページになります。

目1港湾管理費、事業区分3鳥羽マリナーミナル維持管理経費では1,512万4,000円を計上しております。鳥羽市開発公社への指定管理業務で、5年間の債務負担の3年目1,390万円と自動ドア等の修繕工事97万4,000円です。

予算説明資料の次をお願いします。予算書も同様です。

5項都市計画費、目1都市計画総務費、事業区分1都市計画給与等管理費の都市計画一般管理経費では3,299万1,000円を計上しております。主なものは、30年度から進めている景観計画策定業務の3年間の債務負担の411万円です。

予算説明資料の104ページをお願いします。予算書はそのままです。

目2都市下水路費、事業区分1都市下水路管理経費では472万9,000円を計上しております。予算説明資料はそのまま、予算書は188ページ、189ページをお願いします。主なものは、鳥羽ポンプ場の燃料槽液位計取替工事207万6,000円です。

予算説明資料の次をお願いします。予算書も同様です。

目3公園費、事業区分2都市公園整備（交付金）事業では4億7,212万9,000円を計上しております。ここで、説明文の訂正をお願いします。「2020年」の三重国体の会場となっている鳥羽市民体育館においてとの記述は「2021年」の間違いですので、訂正をお願いします。2020年に開催されるのは、国体前のプレ大会となる全国大会でございます。

この事業は、市民体育館が経年劣化により利用に支障が出ているため、利用者が安全に施設を利用できるよう大規模改修を行うものです。また、市民の森や美台第1公園の遊具の改修も行います。主なものですが、資料の9ページの鳥羽市民体育館は、改修工事管理業務958万5,000円と改修工事費4億4,892万8,000円です。また、資料の10ページと11ページの市民の森外1公園遊具改修工事は500万1,000円です。なお、増築のサブアリーナの予算につきましては、27日に追加で上程をさせていただく予定ですのでよろしくをお願いいたします。

予算説明資料の次をお願いします。予算書は190ページ、191ページになります。

目3公園費、事業区分3都市公園等整備事業の中央公園施設整備事業では3,662万1,000円を計上しております。これは、鳥羽中央公園を地域の交流拠点として魅力ある公園にリノベーションするための事業です。予算要求資料は105ページをお願いします。資料12ページの鳥羽中央公園実施設計業務3,160万1,000円と資料13ページの水泳プール床改修工事502万円です。

次、予算説明資料にはありませんが、予算書の次をお願いします。

6項下水道費、目1特定環境保全公共下水道整備費では繰出金として9,700万円を計上しております。これにつきましては、後日予定をしております特別会計の水道課から説明をいたしますので、よろしく申し上げます。

予算説明資料に戻りまして次をお願いします。予算書も同様です。

7項住宅費、目1住宅管理費、事業区分1住宅給与等管理費の住宅運営管理経費では4,210万9,000円を計上しております。予算書は192ページ、193ページをお願いします。これは、市営住宅の適正な維持管理を図るため、10年以上使用し、OS等のサポートも終了する市営住宅の管理システムを改元に合わせて改修を行うほか、空き家となった市営住宅を解体する経費です。主なものは、公営住宅システム使用料139万7,000円です。すみません、予算説明資料では「139万6,000円」と記載をさせていただいておりますが、予算書の「139万7,000円」に訂正をお願いします。幸丘市営住宅118号、119号解体工事128万9,000円もあわせてお願いしております。

予算説明資料の次をお願いします。予算書も同様です。

目1住宅管理費、事業区分2市営住宅整備（交付金）事業では1,642万7,000円を計上しております。これは、社会資本総合整備計画（地域住宅支援）に基づく事業で、主なものは、安楽島市営住宅2、3号棟のトイレ改修工事1,153万7,000円です。

予算説明資料の106ページをお願いします。予算書はそのままです。

目1住宅管理費、事業区分3移住・定住促進事業の定住促進住宅整備事業では92万5,000円を計上しております。これは、移住希望者が定住先を探す間に、短期的に居住できるように整備した市営住宅や民間の空き家を借り上げて整備した移住体験住宅の維持管理等を行い、貸し付けることで移住促進を図る事業で、主

なものは、光熱水費30万円、修繕費40万円、土地借上料2万7,000円です。

予算説明資料にはありませんが、予算書の236ページ、237ページをお願いします。

10款災害復旧費、2項公共土木施設災害復旧費、目1道路橋りょう災害復旧費で400万円、目2河川災害復旧費で200万円を計上しております。

次に、予算書の6ページをお願いします。

第2表債務負担行為の上から3段目、事業として大規模建築物耐震改修事業費補助金、期間としましては平成32年度、限度額6,092万2,000円を設定しております。

以上で建設課の説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。ご質疑いただく範囲を指示いたします。

説明資料の98ページ総務費積立金（基金）から、102ページ河川維持管理経費までの範囲で、ご質疑はございませんか。

102ページまでの範囲です。

河村委員。

○河村 孝委員 99ページの空き家活用促進事業について、お聞きします。

住宅リフォーム、空き家の利用した補助金、軒並み、金額は下がっていないんだけど、件数が下がっていると思うんですけど、これは30年度の実績がそんなものやから、こんなものでいいやろうという見込みなんですか。

○戸上 健委員長 下がった理由、説明してください。

吉川課長補佐。

○吉川課長補佐 建設課、吉川です。

おっしゃるとおり、29年から30年度の実績を勘案して予算の計上といたしました。

以上です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 県の補助金も下がっているということは、これちょっと確認ですけども、空き家リノベーション支援事業補助金というのが県からついている。これ3分の1を県が負担するから、今回が150万円なので50万円に下がったという解釈でよろしいでしょうか。

去年の主な財源で県支出金で、移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金が100万円ついているんです、県からの支出金。今回、県支出金が50万円ということは、その事業費に対して3分の1を県が負担するという考え方でよろしいんですか。

○戸上 健委員長 県の補助金の率が変わったのか。

永野係長。

○永野係長 お答えします。

事業費の3分の1ですので、今回要求した額での計算になってきますので、50万円という形で県のほうには要求しております。

○河村 孝委員 はい、わかりました。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 うちの重点施策である移住・定住、空き家の活用というところは非常に大事になってくると思うので、もし申し込みがこれ以上になった場合はどのように考えていますでしょうか。例えば補正を組むとか、その辺の考え方はどうでしょうか。

○戸上 健委員長 永野係長。

○永野係長 1件以上来た場合は、補正等で対応したいと考えております。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 課長、ほかの補助金、活用促進奨励金とか全ての補助金に対してそのような考え方でよろしいでしょうか。

○戸上 健委員長 建設課長。

○中山建設課長 空き家活用促進もそうですし、その前の耐震化促進事業もそうなんですけれども、30年度の申し込み件数を勘案して決定しておりますので、戸数に増加等ありましたら、また県のほうと協議してふやしていきたいというふうに思います。

以上です。

○河村 孝委員 委員長、以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 関連で、空き家活用の促進事業ということで、多分これ空き家の分母をふやすというのが一番しんどいところなのかなというふうに思うんですけれども、そこに対する取り組みの工夫とか、そういったどういうふうに次年度は展開される予定なんでしょうか。

○戸上 健委員長 建設課長。

○中山建設課長 昨年も同じような質問をいただいて、同じような回答をさせていただいているかなと思うんですが、空き家バンクの登録の数がふえると、ここの部分がふえてくるというふうに理解はしております。空き家バンクにつきましてはポスター、ホームページ等でPRをしているところなんですけど、昨年も言いましたように流通できるようなものにつきましては、不動産業の方々のほうへ流れまして、置いておいて待っているようなものが市のほうへ来るとい、そういう状況もございますので、もう少し工夫をして伸ばしていきたいというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 これも建設だけの問題でもないのかなというふうにも思いますので、連携とれるところととっていただいて、なるべくここの分母をふやしていきながら、そういうふうな活用事例をどんどんとふやしていただけるように努力していただきたいなというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、続いて103ページみなどオアシス事業から、105ページ上段の中央公園施設整備事業までの範囲で、ご質疑はございませんか。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 104ページの中央公園施設整備事業、水泳プールなんですけれども、このベビープールのことで、安全性はこの金額で確保されているか、お聞かせください。

○戸上 健委員長 鳥羽副室長。

○鳥羽副室長 お答えします。

ベビープールの側の水泳プールの床改修工事ですけれども、この金額でベビープール側は全て張りかえられるような形になっております。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 このベビープールは、長年の床がすごくぼこぼこしているという市民の方からの、安全性は大丈夫かということで、すごい要望はあったと思うんですけれども、そのところ安全対策よろしくお願いたします。何回も修理ならないように、年数も大分たっていますので、どうぞよろしくお願いたします。

○戸上 健委員長 要望です。

他にございませんか。

河村委員。

○河村 孝委員 去年の新規事業で地域活性化事業、官民連携のまちづくりを進めるために先進地の視察を行い、職員の意識向上を図りますという旅費が載っておったと思うんですけれども、今回それが見当たらないんですけども、どこかに組み込まれておるんですか。

○戸上 健委員長 吉川室長。

○吉川室長 ことは、来年度の予算の中には組み込まれてはいたしません。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 これ、議会からも非常にいいことだということで、積極的にそういうところを、先進地事例を学んで、職員を積極的に派遣するべしというお話もさせていただきました。なぜそれを外したのでしょうか。

○戸上 健委員長 建設課長。

○中山建設課長 30年度につきましては、予算を計上させていただきました、泊まりで研修とかに行かせていただいております。予算計上をしなくても行ける範囲というのがありまして、その1年前、和歌山とかその辺、わからないのでごめんなさい、奈良とかその辺、何とか日帰りでも行けそうなどころもありまして、愛知県内でも同じようなことをやっているところもありますので、ちょっと建設課の予算見ていただくとおわかりいただけるかと思うんですが、相当建設課のほうに他の課の予算を持ってきてしまっているんじゃないかということもございまして、ちょっとその辺を含めて、今年度は少し遠慮をさせていただいたというのが本当のところでございます。

以上です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 考え方としては非常にいい、そういう先進地事例に学ぶということ、考え方としては非常に大

事なことだと思うので、大事さ加減わかっていたいただいていると思うので、予算に余裕ができたときは、ぜひまた復活させていただきたいと思います。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

ないようですので、続いて、説明資料105ページ中段の住宅運営管理事業から、106ページ定住促進住宅整備事業までの範囲で、ご質疑はございませんか。

よろしいか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、説明員交代のため休憩します。

(午前11時37分 休憩)

(午前11時40分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

続いて、消防本部の当初予算を審査します。

説明資料は107ページから110ページです。

消防長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話いただき、そのまま説明に移ってください。

消防長。

○益田消防長 消防本部の益田です。よろしく申し上げます。

平成31年度予算要求につきましては、財政健全化に向けた集中取り組みとして前年度比で経常経費95%、政策経費40%、補助金80%を掲げ、それを守るべく各事業の見直しを図りました。市民の安全・安心を維持しつつ達成させるにはかなり苦労もいたしましたけれども、その取り組みの一部といたしまして、臨時職員1名の削減、毎年計画的に更新をしております消防職員及び団員の防火服、消防ホースを今回の予算要求では計画の2分の1とし、補助金につきましても20%カットを行いました。

しかしながら、離島救急患者搬送費補助事業に関しましては、離島において救急患者が発生し、船舶の借り上げをし患者を搬送した場合に、搬送費相当額として補助をするという、言うなれば費用弁償的なものでございますので、20%カットを行いましたけれども、発生件数により予算額を超えてしまう場合もあると思いますので、その場合は補正のほうもまたよろしくお願いをいたします。

また、消防庁舎整備事業では平成32年度完成を目指して建設工事、施工管理委託など、2年度にわたって事業をしていくということで計上をさせていただきました。

それでは、消防費について説明をさせていただきます。

予算に関する説明書は192ページから201ページ、当初予算説明資料は107ページから110ページでございます。

8款消防費、1項消防費の予算額といたしましては、目1常備消防費で3億6,056万円、目2非常備消防費で6,209万8,000円、目3消防施設費2億4,018万円、合わせまして6億6,283万

8,000円を計上させていただきました。

主なものといたしましては、常備消防費では救命救急士養成研修経費、非常備消防費では消防団員災害活動時の安全確保のための装備品及び消防ホース購入経費、消防施設費では消防庁舎建設工事、消防庁舎建設工事監理業務委託であります。消防訓練棟建設工事実施設計業務委託、高機能消防指令システム整備実施設計委託などがございます。

詳細につきましては、前田消防次長のほうから説明をいたしますので、よろしく願いをいたします。

○戸上 健委員長 前田次長。

○前田消防次長 消防次長の前田です。よろしく申し上げます。

それでは、目1常備消防費のほうから順次ご説明をさせていただきます。予算書は192ページ、193ページをお願いいたします。

それでは、予算説明資料に沿ってご説明いたしますので、当初予算説明資料107ページをお願いいたします。

事業区分1消防給与等管理費の消防一般管理経費におきまして3億3,162万9,000円を計上させていただきました。これは、消防職員46名の人件費等でございます。

続きまして、事業区分2警防消防経費の警防消防活動業務におきましては220万6,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、火災等各種災害に対応するための装備品といたしまして、平成27年度より計画的に更新をしております消防職員用防火衣2着分で44万円、消防ホース5本で18万7,000円と、昨年11月に志摩生コンクリート協同組合と火災時における消防用水の確保に関する協定書を締結したことに伴いまして、有事の際に速やかに消火用水の供給が得られるための簡易タンク、これ5トン用でございますが、こちらの購入経費といたしまして37万8,000円を計上させていただいております。

続きまして、一番下の消防職員研修事業では491万2,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、救急救命士の養成研修負担金1名分で210万6,000円と、その研修旅費59万6,000円でございます。

1枚めくっていただきまして、108ページをお願いいたします。

消防通信指令業務では1,672万7,000円を計上させていただきました。消防救急デジタル無線設備の運用及び維持管理に係る経費といたしまして、活動波設備保守点検377万3,000円、共通波活動波アプローチ回線料167万5,000円、共通波設備管理負担金201万2,000円、共通波設備整備負担金で570万3,000円、業務用無線局再免許申請手数料43万9,000円となります。

続きまして、事業区分3救急救助経費の救急活動業務では297万9,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、年間おおむね1,500件の救急出動に伴います救急消耗品の98万4,000円となります。

続きまして、一番下の離島救急患者搬送費補助事業では離島救急患者搬送費補助金72万6,000円を計上させております。

続きまして、109ページをお願いいたします。

救助活動業務では92万3,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、水難救助

活動で使用いたしますウエットスーツ1着11万9,000円と潜水用資機材の更新費用といたしまして7万円となります。

続きまして、目2非常備消防費に移ります。予算書198ページ、199ページをお願いします。説明資料はそのまま109ページ2段目になります。

事業区分1消防団活性化経費の消防団教養訓練事業では789万6,000円を計上させていただいております。主なものといたしましては、三重県消防学校消防団員入校負担金で11万5,000円となります。

続きまして、事業区分2消防団災害防衛対策経費の消防団災害防衛対策経費では1,285万4,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、消防団員の災害活動時における安全確保のための防火衣一式12着分で91万円、消防ホース19本分で69万8,000円となります。

続きまして、目3消防施設費に移ります。予算書200ページ、201ページをお願いいたします。説明資料は109ページの一番下の部分になります。

事業区分1消防水利整備経費、消防水利整備維持管理経費では716万9,000円を計上させていただきました。主なものといたしましては、消火栓用格納箱設置補助金56万円と消火栓10基、これ新設費でございますが、相差に6基、答志に4基と、それとあと維持管理費を合わせまして660万2,000円となります。

1枚めくっていただきまして、110ページのほうをよろしくをお願いします。

事業区分2消防車両等整備経費の消防車両等整備維持管理経費では699万2,000円を計上させていただいております。これは多様化する災害に対応できる消防力及び機動力の強化を図るため、消防車両等の維持管理を行います。主なものといたしまして、はしご付消防自動車の保守点検に要する経費49万5,000円となります。

続きまして、事業区分3消防施設整備経費の消防庁舎整備事業におきまして2億2,522万7,000円を計上させていただきました。主なものといたしまして、消防庁舎建設工事費用2億882万円、それと消防庁舎建設工事監理業務委託料691万7,000円、それと主訓練棟の建設工事実施設計業務委託料といたしまして519万……。庁舎建設工事につきましては4億8,724万9,000円、庁舎建設工事監理業務につきましては1,613万9,000円でございます。この事業の主な財源につきましては、消防施設整備事業債と観光振興基金繰入金を活用させていただきます。

これで消防費の説明を終わらせていただきます。ご審議よろしくをお願いいたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。

消防本部の全予算についてご質疑はございませんか。

河村委員。

○河村 孝委員 107ページの警防消防活動業務の中で、簡易タンク今回5トン用、37万8,000円の経費がついています。その説明の中に、30年度に志摩生コンクリート協同組合との協定書を交わしたと。今回の予算の5トン用のタンクと協定の中身を、僕ちょっと今回、すみません、初めて聞くもので、どういう協定を交わしたのか。だから、この5トン用が必要なんだという、想定される事態等々も含めて説明をお願いしますか。

○戸上 健委員長 前田次長。

○前田消防次長 この説明書、資料の中にも書かせていただいておりますけれども、平成28年12月に糸魚川で発生しました市街地の大規模火災で、このときに水利が非常に不足いたしまして、既設の消火栓、防火水槽では水利が足らなくなりまして、コンクリートミキサー車によりまして水を運んでいただいて、それをこの簡易の防火水槽で受けて、そこから消防車が水を吸って消火活動を行ったという実績から、全国的に、このコンクリート業界さんと協定を交わして、こういう活動も可能に下さいというような通知等々も来ていましたので、昨年度に志摩広域消防さんと一緒にこの協定を結ばせていただきまして、コンクリートミキサー車の大型のミキサー車なんですけれども、これの最大の水の積載量が5トンということですので、これに常時水を何台かのミキサー車で、もしこういうことが起こった場合、運んでいただいて、ここへ水を継続的に入れ込んでいただいて、そこから消防車が水を給水して放水するというような感じになります。

以上です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 ということは、遠くから来てもらうので初期消火というよりも大規模な火災に発展しそうなときに来てもらって、水利が足らん分をカバーしてもらおうという考え方でよろしいんですか。

○戸上 健委員長 前田次長。

○前田消防次長 そのとおりでございます。

○河村 孝委員 はい、わかりました。

以上です。

○戸上 健委員長 井村委員。

○井村行夫委員 全く私も河村委員と同じ質問を思っていましたものであれですけれども、例えばコンクリのそのミキサー車の中に水を入れてというようなことなんですが、それを運んでくる費用とかそんなんとか、その大きさですね、5トンのその大きな部分というのは道へ配置せないかんとかそういうことだというふうに思いますけれども、その水を運んでいただく費用云々とそれから大きさというのかな、そのタンクの大きさみたいな、ちょっとよかったら教えていただけますか。

○戸上 健委員長 前田次長。

○前田消防次長 すみません、5トン用の水槽の何メートルの何メートルといのはちょっと今仕様を持っていないんですけれども、基本的には1メートル50ぐらいですか、高さが。そのの割り返していくのでどれだけになるんやろう。大体それぐらいの二、三メートル四方ぐらいになっていくのかなと。

5トンですので、設置するところはやっぱり道路等々になっていくんですけれども、そういうような活用の仕方になります。

○戸上 健委員長 井村委員、よろしいか。

○井村行夫委員 はい、ありがとうございます。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 ようやく消防の本庁舎の建設が始まって、新年度31年度と32年度で完成するというところで、本当に感慨がありますけれども、我々、10月の昨年の決算委員会の提言書の中で、こういう提言をしており

ます。

消防署員定数が46人のまま推移し、消防庁の消防力の整備指針の人数より下回っている。夜間の離島救急体制も危惧されており、消防力強化に引き続き努力されたいというふうになっておりますけれども、人数、最初の消防署の署員の人数46人と変わらないんですけれども、この点についてはどういう議論がされて、庁舎のほうの建設があるからというふうなところもあるのかと思いますけれども、どういう議論がされたのかということをお伺いしたい。

あと、最後にまた副市長、副市長に伺ってもいいのかな。議会の提言に対してのどういう審議、議論がされたのかという。まず、消防長。

○戸上 健委員長 消防長。

○益田消防長 議会のほうから提言があつて、南出張所を建てたときに4名増員していただきまして、最終目標というか、51名を目指して要望はしていく予定ですけれども、すぐにふやしてもらえるということはなかなか難しいので、継続して要望はしていきたいと考えております。

○戸上 健委員長 冒頭の消防長の当初予算の編成の苦心、いろいろカットして、防火服も2分の1にしたと。本来必要な防火服をそれだけ減らして果たして消防署員の現場のあれは大丈夫なのかと、僕は懸念するけれども、今の予算査定の中では非常にそのあたりは皆さんご苦労なさったというふうに思うんです。

質問のあった副市長、職員数の件についてだけ答弁してください。

○立花副市長 今、消防の実情というのは、ぎりぎりまで回していただいているという実情はしっかりわかっておるわけなんですけれども、人員につきましては提言いただきましたけれども、同じようにこの間からもいただいている一般職員の人員の面もありまして、やはりその中とのバランスも考えながらやっていかないといけないところがありまして、行政改革の中で、ずっと一般職員は今減らしてきている中で、消防職員だけは5名ほどふやさせていただいておりますというような状況もありまして、今ちょっと、今の現段階では配置についてはぎりぎりのところで、引き続き何とか増員していきたいなというのと、したいなという気持ちはあるんですけれども、そういう状況でございます。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 了解しました。引き続きのご努力よろしくお願ひしたいと思ひます。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 消防団災害防禦対策経費でホースを購入してもらつてありがたいことなんですけれども、ここで、何で新庁舎をつくるのはもう必要、ただ消防団格納庫自体がもう危険な状態の場所があるのにその議論はこの中で行わなかつたの。

○戸上 健委員長 前田次長。

○前田消防次長 尾崎委員ご指摘のように、消防団の格納庫のほうもかなり老朽化しているのも事実でございます。実際のところ、やっぱりこの消防庁舎にかなりの金額を計上させていただいております、鳥羽市の予算にかなり圧迫しておるといふことで……

○尾崎 幹委員 わかりました。もう一点だけ。

○戸上 健委員長 尾崎委員、ちょっと答弁苦しいと思うので、そこは。

○尾崎 幹委員 違うよって。もう要望だけ。いいですか。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 消防庁舎自体は災害時活動拠点の場所になっていますよね。それで、地域は消防団の格納庫が拠点になると思います。本当なら同時にしていただきたいけれども、お金がないということはわかっています。だけど、これは急務と思っていますので、どうか来年度予算、もしくはよければ補正予算で全部改修したっていただくようお願いしときます。

以上です。

○戸上 健委員長 強い要望です。財政当局にも言わないかん。市長、副市長サイドの問題だというふうに思います。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、昼食休憩のため午後1時まで休憩いたします。

(午後 0時02分 休憩)

(午後 0時59分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

教育委員会の当初予算について審査に入りますが、教委総務課、学校教育課、生涯学習課の順に審査を進めますので、委員並びに執行部の皆様はご承知おき願います。

初めに、教育委員会総務課の当初予算の審査を行います。

説明資料は111ページです。

担当課長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話しいただき、そのまま説明に移ってください。

教育長。

○小竹教育長 教育長の小竹でございます。よろしくお願いいたします。

教育長を拝命しましてから2年目になりました。2回目の予算編成ということでよろしくご審議いただきたいんですけども、昨年度に引き続き、国際観光文化都市の人材育成ということで、資するような人づくり、それから施設設備のほうでは安全、安心、快適というところをテーマに予算立てをさせていただきました。どうぞ皆様のご審議を賜りますようによろしくお願いいたします。

細部につきましては、それぞれ担当課長のほうから説明させます。よろしくお願いいたします。

○戸上 健委員長 教委総務課長。

○世古教委総務課長 教育委員会総務課、世古です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、款9教育費の総務課に関するものについてご説明いたします。

予算書は202ページから219ページを、予算説明資料につきましては111ページでございます。

今年度の教育委員会総務課につきましての予算編成に当たっての検討した点とか、そういったところについて、まずご説明させていただきたいと思います。

総務課の事業といたしましては、市内小中学校の児童生徒が安全・安心、そして快適な学校生活を送れるよう学習環境や生活環境の向上を図ることを目的に予算計上をお願いするもので、市の財政状況が厳しい中、いかに国の補助金などを有効活用して施設整備が図れるかということを検討して予算編成を行ってまいりました。

例えば一昨年の答志小学校と長岡中学校の外壁改修工事や昨年の特別教室への空調設備整備工事と同様に、今年度もトイレ改修や大規模改修工事などについては国に補助申請を行いながら進めていきたいと考えております。

昨年度はカーテンの購入など備品購入費や危険木伐採の委託料、そして工事請負費など、例年になく多額の予算配当を得たことにより、多くの学校要望にも応えることができました。議員の皆さんからも、かなりの学校施設が古いということで指摘もありまして、そういった関係、市長、特に本格的な予算編成が初めてということで学校施設にかなりの金額を投じてくれました。

今年度はそういった整備も進んで、完全ではないんですけども、予算編成も厳しいというところで、例年並みの予算編成となっております。

それでは、今年度の予算についてご説明させていただきます。

当初予算説明資料には記載されておりませんが、目別で説明させていただきます。

項1 教育総務費、目1 教育委員会費、説明欄1 教育委員会運営管理費につきましては、教育委員の報酬など昨年とほぼ同額の267万7,000円を計上しております。

次に、目2 事務局費、説明欄1 事務局給与等管理費につきましては、主に教育委員会事務局の人件費など1億7,332万2,000円を計上しております。

続きまして、項2 小学校費、目1 学校管理費、事業区分1 小学校給与等管理費につきましては、小学校の管理運営を行うため、学校用務員の人件費や児童の通学用スクールバスの運行業務、施設の維持管理に必要な光熱水費などのほか、菅島小学校トイレ改修、答志小学校遊具設置等を行う工事請負費、教職員への校務用パソコン25台を購入するための備品購入費など合わせまして8,389万8,000円を計上するものであります。

予算書の6ページ、7ページの第2表債務負担行為をごらんください。

6ページ下段、下から2段目になりますけれども、小学校の運営管理、鳥羽小学校バス運転業務及び弘道小学校バス運転業務を長期継続契約するため、平成32年度から平成33年度までの期間において債務負担行為の設定を行うものであります。限度額につきましては、鳥羽小学校バス運転業務が768万4,000円、弘道小学校バス運転業務が363万円を設定するものであります。なお、この後、中学校費及び幼稚園費でも債務負担行為がございますので、あわせてここでご説明させていただきます。

7ページには、鳥羽東中学校バス運転業務が1,234万2,000円、かもめ幼稚園バス運転業務が570万4,000円となっております。

次に、項3 中学校費、目1 学校管理費、説明欄1 中学校給与等管理費につきましては、中学校の管理運営を行うため、学校用務員の人件費や鏡浦地区の生徒の通学用スクールバス運行業務、施設の維持管理に必要な光熱水費などのほか、答志中するのための備品購入費など、合わせて5,368万9,000円を計上するもので

あります。なお、校務用パソコンの配置につきましては、小中学校合わせて今年度同様の32台程度で、全員の194名に行き渡るような状況であります。これは要するにあと32台が全教職員の中では不足しているというような状況でありますけれども、そういった194名には今年度同様の金額があれば、来年度全員に渡るといふようなところでございます。

次に、項4幼稚園費、目1幼稚園費、説明欄1幼稚園給与等管理費につきましては、かもめ幼稚園の管理運営を行うため、幼稚園教諭等の人件費やスクールバス運行業務、施設の維持管理に必要な光熱水費などのほか、天井などを改修する工事請負費合わせて4,617万6,000円を計上するものでございます。

財源としまして、国庫補助金、幼稚園費補助金、子ども・子育て支援交付金47万5,000円。県補助金幼稚園補助金、地域子ども・子育て支援事業交付金47万5,000円となっております。

以上で、説明を終わらせていただきます。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。教委総務課の予算についてご質疑はございませんか。

河村委員。

○河村 孝委員 小学校管理業務と中学校管理業務、両方でお聞きしたいんですけども、去年までみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して危険木伐採の予算ついていたとうんです。これ、10分の10で県から出た交付金だったと思うんですけども、今回それがなくなっている経緯、申し込んでもだめだったのか、あえて申し込まなかったのか、その辺の経緯を教えてください。

○戸上 健委員長 教委総務課長。

○世古教委総務課長 この危険木伐採の費用につきましては、これまで各学校に要望をとりまして、昨年度は予算要求をさせていただきました。今年度はその財源を活用しながら伐採したということで、ここ当分の間といいますか、もう少し、また、木が大きくなるまでいいのかなというところもありましたので、また今後、こういう資金なども活用しながら、要望にまた今後も答えていきたいと思っておりますけれども、今年度はそういったところで予算要求はしておりませんので、ご理解いただきたいと思っております。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 ある程度今年度のところで危険なところについては解消できたという説明だったと思います。教委の総務課に関しては、草刈り等々地元と連携しながら、大変危険な場所というのはなかなか素人ではできないところなんだけれども、それ以外のところで地元と協力しながら、草刈りをしながら管理をしていくとか、枝払いとか、その辺は随時進めていただいていると思うので、引き続きそういうことも進めながら適正な管理に努めていただきたいなと思っております。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、続いて学校教育課の当初予算の審査を行います。

説明資料は112ページから118ページです。

担当課長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話いただき、そのまま説明に移ってください。

学校教育課長。

○岩本学校教育課長 学校教育課の岩本です。よろしくお願いします。

平成31年度の予算編成に当たり、学校教育課といたしましては、教育委員会の基本方針であります国際観光文化都市に資する人づくり、場づくり、自分が好き、友達が好き、鳥羽が好きのもと、児童生徒の自己肯定感を大切にするとともに、コミュニケーション力と郷土愛の育成を柱として、限られた予算配分の中で検討し、平成31年度の予算編成を行いました。

コミュニケーション力の育成につきましては、平成30年度より英語教育の推進を重点としていることから、引き続き英語検定チャレンジ事業と外国語活動推進事業を行うことで、鳥羽で生まれ育つ子供たちが英語になれ親しみ、英語を学ぶ意欲の向上につながる取り組みになると考えております。

英語検定チャレンジ事業につきましては、小学校6年生と中学校2年生の全員と中学校1年生の希望者を対象に、検定料の全額を市が負担して実施する予定でおります。

郷土愛の育成につきましては、平成30年度より継続して鳥羽が好きふるさと給食を実施することで、食育を通して児童生徒が自然豊かな鳥羽のよさを知り、郷土愛を育む取り組みになると考えております。また、食材等に携わる生産者の方等をゲストティーチャーとして授業に招くことも継続して行い、取り組みをより充実させていく予定でおります。

自己肯定感につきましては、平成29年度から市内全小学校に司書資格を有する方を派遣する学校図書館整備事業において、平成31年度からは中学校へも新たに派遣することで、読書活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

また、今日的な課題である鳥羽高校の活性化につなげる取り組みとして、高校生就学支援事業においては、鳥羽高校に通学する生徒に対する補助金の補助率を市内一律で対象となる通学費の50%に引き上げ、支援をしていく予定でおります。

それでは、学校教育課の平成31年度当初予算につきましてご説明させていただきます。

初めに、大変恐縮ですが、誤字の訂正をお願いしたいと思います。当初予算説明資料116ページ上段、就学援助事業の欄であります。主な経費の2行目、要保護・準要保護児童、その次が授業の「授」という字になっておりますが、これが就学援助の「就」という字の誤りとなっておりますので、訂正のほうをお願いいたします。

あわせて117ページ右側の中段、同じく就学援助事業の主な経費のところの中学校費ですが、要保護・準要保護児童「授」というところが、「就」学援助ということで誤字となっておりますので、あわせて訂正のほうをよろしくお願いいたします。大変申しわけございません。

それでは、予算書は204ページ、205ページ、当初予算説明資料は112ページをごらんください。

款9教育費、項1教育総務費、目3教育振興費につきましては5,473万1,000円を計上しております。事業区分1教育支援事業につきましては3,859万1,000円を計上しております。

当初予算説明資料は112ページ中段をごらんください。

特別支援事業につきましては2,600万7,000円を計上しております。児童生徒一人一人の障がいの種別やニーズに応じたきめ細やかな支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に、特別支援教育支援員21名を

配置し、児童生徒が自立して生活できるよう支援を行います。なお、特別支援教育支援員の勤務日数につきましては、土曜日の授業を含めて205日間を予定しております。

同ページ下段、外国人英語指導業務委託事業につきましては864万円を計上しております。引き続き外国人英語指導助手2名を幼稚園、小中学校に配置し、外国語等によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図ることを目的として、外国語教育の指導業務を委託するものであります。主な財源といたしましては、三重県市町村振興協会市町交付金600万円を予定しております。

また、予算書の7ページをごらんください。

第2表の債務負担行為でございますが、長期継続契約をするために、平成32年度から平成34年度までの期間において債務負担行為の設定を行っております。金額につきましては2,059万2,000円を計上させていただきます。

当初予算説明資料113ページにお戻りください。

英語検定チャレンジ事業につきましては71万8,000円を計上しております。国際観光文化都市・鳥羽の将来を担う子供たちの国際的なコミュニケーション力を育成するため、小中学生が英語を身近なものとして身につけるとともに、学習意欲の向上を図ります。小学校6年生134名と中学校2年生147名の児童生徒全員と中学校1年生の希望者が英語検定にチャレンジする2年目の事業となります。

続きまして、事業区分2教育振興事業につきましては915万4,000円を計上しております。

当初予算説明資料114ページ上段をごらんください。

学校図書館整備事業につきましては443万6,000円を計上しております。市内全小学校に年間29日司書資格を有するものを派遣し、図書館の環境を整備するとともに、学校図書館を活用した授業を推進し、文章を読んで内容を理解する力や内容をまとめて書く力、貸し出し冊数の増加等を目指します。また、次年度からは新たに中学校へ年間8日の派遣を行い、その充実を図ります。主な財源は過疎地域自立促進特別事業債430万円を予定しております。

同ページ中段寝屋子の島留学事業につきましては160万円を計上しております。答志地区において答志小中学校に転学を希望する児童生徒を受け入れ、相互の教育効果向上や地域に根差した教育等の充実を目的として取り組みを進めます。平成31年4月からは新たに2名の里親留学生を受け入れ、継続する家族留学生1名と合わせて3名の離島留学生を受け入れることとなりました。そのために、留学生助成金や次年度の募集に向けた体験ツアー経費など94万円が主な経費となります。今後も地域の実施委員会と連携を図り、事業を進めてまいります。財源といたしましては、離島活性化交付金80万円を予定しております。

続きまして、事業区分3高校生修学支援事業です。当初予算説明資料は114ページ下段をごらんください。

高校生修学支援事業につきましては、市内の高校生を持つ世帯に対し、通学や下宿の費用を一部負担することにより、経済的な支援を行う目的で698万6,000円を計上しております。なお、補助率は、離島の世帯は4分の1を、本土の世帯は8分の1を支援するものですが、新たに鳥羽高校の活性化につなげる取り組みとして、鳥羽高校に通学する生徒に対しては市内一律2分の1を支援することとしました。その増額分は約30万円程度を見込んでおります。

この事業の財源内訳といたしましては、国庫補助金、離島高校生修学支援費補助金が238万4,000円、

地方債、過疎地域自立促進特別事業債が200万円、一般財源が260万2,000円であります。なお、本年度実施いたしました防災・減災教育推進に係る学校安全総合支援事業に関しましては、新年度も引き続き県の委託事業を受けることにより実施してまいりたいと考えておりますので、改めて6月補正時にお願いをさせていただく予定であります。

続きまして、款9教育費、項2小学校費、目2教育振興費につきましてご説明いたします。予算書は208ページから211ページ、当初予算説明資料は115ページ、116ページをごらんください。

予算額といたしましては1,897万3,000円を計上しております。事業区分1小学校教育振興経費につきましては1,068万4,000円を計上しております。

予算説明資料115ページ上段、小学校教育振興事業につきましては467万円を計上しております。小学校において、授業に必要な各種教材及び学校図書購入事業等の備品購入費や公共施設見学のための交通費、離島小学校の児童が本土で課外活動を行う際に必要な定期船代を補助する課外活動費に加え、小学校5年生を対象に海野博物館で行う海環境体験事業委託料24万3,000円などとなります。主な財源といたしましては、小学校図書購入費寄附金75万円を予定しております。

同ページ中段、高度情報通信システム利用教育事業につきましては362万7,000円を計上しております。小学校の授業において、ICTを活用し児童の理解力の向上を図ることを目的に、タブレット端末、プロジェクター、スクリーンの3点セットのICT機器購入費用86万4,000円を含む予算を計上しております。次年度は5カ年計画の4年目として、4小学校に5セット購入する予定であります。

同ページ中段、活力ある学校づくり推進事業につきましては160万円を計上しております。各小学校の特色や地域の特性を活かした授業を実施することで、子供たちの活力を引き出すとともに、魅力ある学校づくりを推進することを目的とする事業であります。例えば神島小学校、菅島小学校においては、この事業予算を活用して島っ子ガイドを行っております。財源といたしましては、全額ふるさと創生基金繰入金を予定しております。

同ページ下段、外国語活動推進事業につきましては36万8,000円を計上しております。この事業は新学習指導要領による小学校英語の教科化に向けたスムーズな移行を図ることを目的としております。主な内容といたしましては、年5回英語教育推進校で実施する外国語科の授業研究に小中学校の英語教育担当教員が参加し、小中の連携と授業力の向上を図ります。また、推進校の小学校高学年児童を対象とするイングリッシュキャンプでは、外国人英語指導助手とともに1日英語のみの学習を体験し、英語になれ親しみ、学ぶ意欲の向上を図ります。

事業区分2就学奨励事業につきましては757万9,000円を計上しております。予算書は210、211ページ説明欄に、当初予算説明資料は116ページ上段をごらんください。

内訳といたしましては、経済的な理由により就学することに支障を来している児童の家庭に対する要保護・準要保護児童就学援助費として378万6,000円を、遠距離通学をしている児童の保護者負担の軽減を図る遠距離児童通学費補助283万1,000円を計上しております。

事業区分5友好都市提携事業につきましては13万円を計上しております。予算書は210ページ、11ページ説明欄5当初予算説明資料は116ページ中段をごらんください。

兵庫県三田市との友好都市提携事業につきましては、神島小学校と三田市立母子小学校において学校間交流を実施し、地域の特性やすばらしさ等を紹介し合うことを通して、郷土愛の育成を目指しております。また、昨年は荒天のため中止となった母子小学校児童を鳥羽市に迎えて神島小学校の児童との交流活動を行い、友好都市との学校間交流の促進を図ります。

続きまして、款9教育費、項3中学校費、目2教育振興費についてご説明いたします。

予算書は214ページから215ページ、当初予算説明資料は116ページ、117ページをごらんください。

予算額としましては1,825万7,000円を計上しております。事業区分1中学校教育振興経費につきましては828万6,000円を計上しております。

予算説明資料116ページ中段、中学校教育振興事業につきましては389万7,000円を計上しております。中学校において授業に必要な各種教材や学校図書購入事業等の備品購入費、学校音楽祭事業費等に加え、離島中学校の生徒が本士で課外活動を行う際に必要な定期船代を補助する課外活動費56万6,000円などです。主な財源といたしましては、中学校図書購入費寄附金48万円を予定しております。

同ページ下段、コンピュータ教育事業につきましては217万5,000円を計上しております。小学校費と同様に、授業においてICTを活用し、生徒の理解力の向上を図ることを目的にICT機器購入費用34万6,000円を含む予算を計上しております。新年度は5カ年計画の4年目として、1中学校に2セット購入する予定であります。

当初予算説明資料117ページ上段、活力ある学校づくり推進事業につきましては125万円を計上しております。目的については小学校と同様ですが、中学校においては文化祭への講師派遣や体験活動経費、またキャリア教育の推進等に各校の実情に応じて活用をしております。財源としましては、全額ふるさと創生基金繰入金を予定しております。

事業区分2就学奨励事業につきましては967万1,000円を計上しております。予算書は214ページ、15ページ、説明欄2、当初予算説明資料は117ページ中段をごらんください。

内訳といたしましては、経済的な理由により就学することに支障を来している生徒の家庭に対する要保護・準要保護児童就学援助費として683万2,000円を、遠距離通学をしている生徒の保護者負担の軽減を図る遠距離児童通学費補助221万2,000円です。

続きまして、款9教育費、項6保健体育費、目2保健体育振興費についてご説明いたします。予算書は230ページから233ページ、当初予算説明資料は117ページ中段をごらんください。

事業区分2学校体育活動事業2,197万6,000円のうち、小中学校（園）保健振興事業につきましては、学校医の報酬や児童生徒、教職員の各種診断、検査に要する委託料の費用として1,762万2,000円を計上しております。主な経費といたしましては、学校管理下において、児童生徒が他人や他人の財産に損害を与えた場合の賠償保険費用として27万5,000円を、幼稚園、小中学校におけるAEDレンタル料39万4,000円などでございます。

続きまして、目4学校給食費についてご説明いたします。予算書は234ページから235ページ、当初予算説明資料は117ページ、118ページをごらんください。

学校給食運営事業につきましては、離島校5,054万8,000円、学校給食運営事業（中央調理場）につきましては3,440万9,000円を、合わせて8,495万7,000円を計上しております。

当初予算説明資料117ページ下段、学校給食運営事業及び118ページ学校給食運営事業（中央調理場）につきましては、鳥羽でとれる新鮮な食材を活用し、食を通して郷土愛を育む鳥羽が好きふるさと給食を市内幼稚園、小中学校で年2回実施するため、園児、児童生徒1人当たり、1食当たり300円を年2回市が負担する賄い材料費として81万9,000円を計上しております。また、財源としましては地方創生推進交付金40万9,000円を予定しております。

なお、大きく変更のある点といたしましては、予算書235ページ説明欄1をごらんください。02一般職給で今年度比434万2,000円減の1,238万6,000円を計上しております。減額の理由といたしましては、本年3月正規職員1名の退職によるものです。また、その補充に伴い、07嘱託職員賃金で今年度比203万1,000円増の1,201万4,000円を計上しております。

学校教育課の説明は以上です。よろしくお願いたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。ご質疑いただく範囲を指示します。

説明資料の112ページ事務局運営業務から、114ページ高校生修学支援事業の範囲で、ご質疑はございませんか。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 112ページ、特別支援教育支援員の事業についてお伺いをいたします。

きめ細やかな一人一人の障がいの程度に応じた自立支援をしていただいております日ごろに感謝申し上げます。昨今医療的ケア、いわゆる医療をしないといけない子供の入学というのは今鳥羽市にあるのかなのか、お答えください。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 医療が必要な子供のということでしょうか。

○坂倉広子委員 はい。の支援というのは、入学する予定とかそういうのはいらっしゃらないですか。

○戸上 健委員長 これは先にそれは計上されているかどうか、ちょっと答弁してください。それを範疇に入れて計上されておるかどうか。

○岩本学校教育課長 そのことに関しての予算計上はしておりません。

○坂倉広子委員 はい、わかりました。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 次、114ページ、拡充、高校生修学支援事業についてご質問いたします。

離島の高校生の支援、そして本土における高校生の通学支援に対して、日ごろより感謝申し上げます。

今回、鳥羽高校生の入学する子供さんに対して50%の引き上げをするということですが、大体鳥羽高校に入学される方の見込みというのは何名いらっしゃるのでしょうか。

○戸上 健委員長 教委総務課長。

○世古教委総務課長 この高校生支援事業につきましては、総務課が事務担当をしまして、中身については私のほうから説明させていただきます。

資料としては、一昨年50名程度の新たな入学生ではなく、通学費の補助ですので、1年生から3年生までの全ての生徒が対象となります。今年度まだ途中でありますので、29年度時点では51名の生徒がいました。おおむねよく似た50名程度の前後かなと思われまじけれども、その中で非常に申請率が低く、29年度の、昨年度の申請は11名、これはなぜかと言いますと、近くの生徒がかなり、一丁目から安楽島地区とか、そういう生徒が多いということで、この11名につきましては南鳥羽、そして離島は100%ですけれども、そういったところの生徒の分でございます。

以上です。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 ありがとうございます。内訳を聞かせていただきました。

手続きがいろいろ大変だということはないと思うんですけども、こういうふうなところに簡素化な手続きをしたんだというのがあれば教えてください。

○戸上 健委員長 教委総務課長。

○世古教委総務課長 手続的には、こちらのほうから児童生徒に直接学校を通じて資料配布なんかはさせていただいております。先ほど言いましたように、金額が本土でしたら8分の1、そして本土の下宿されている方には対象となりませんので、この下宿の対象は離島の学生ですので、そういったところで事務的な簡素化は今のところ特別なところはありません。こちらでの周知はなるべくしているようにしますが。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 周知もまたどうぞよろしくお願いいたします。

それでは……。まだですね。

○山本哲也委員 関連で、いいですか。

○坂倉広子委員 どうぞ。

○山本哲也委員 修学支援事業の。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 関連で、鳥羽高の活性化につなげる取り組みとしてこの通学補助という感じで上げられていると思うんですけども、どう活性化につなげようとしておるのか、ちょっとその辺の。修学支援としてこういうふうな形ですというたら何となくわかるんですけども、鳥羽高の活性化につなげる取り組みとしてこれを上げられておるわけですね。補助することによってどう活性化につなげようとしておるのかというところをちょっとお聞かせください。

○戸上 健委員長 教育長。

○小竹教育長 まず、市として鳥羽高の活性化に支援をしているというところを予算的にも見やすくするというところが一つございまして、各高校、鳥羽高校が入学説明会に行きますけれども、そのときにも市として通学の補助が手厚くなっていますということは言っただけですので、そのことによって市のほうが力を入れているということは保護者にも生徒にもアピールできると思いますし、学校としてもその辺のところ、あるいは三重大学の地域支援枠もございまして、そういうメリット面をアピールできるという点で活性化に寄与できるというふうな考えました。

以上でございます。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 僕としては余り逆にそういうところをプッシュするんじゃなくて、鳥羽高の魅力とかといのが一番に来なあかん部分なんかなというふうには思うんですよ。何かちょっと安易じゃないですけども、どっちかという保護者向けになるわけですね。通う生徒本人からして補助があるから鳥羽高行こうとかという感じにはならんのかなというふうに思いますので、何かどうしてもここの活性化につなげる取り組みとしてという部分が、僕どうしてもひっかかってきておっするわけで。

悪いことじゃないと思うんですけども、もっと活性化につなげる取り組みというんやったら、もっとほかにもあったん違うかなというところで、手法としてこれを選ばれたというところでちょっともうひと工夫欲しかったかなというところは思います。

以上です。

○戸上 健委員長 教育長。

○小竹教育長 おっしゃるとおりでございます、教育委員会が今こうやって出させていただいているのは全てでございますので、企画のほうでも当然やっております。ただ、教育委員会としましては、本来は高校の支援というのは所掌事務に入っておりませんので、その中で何ができるかという通学の補助というふうに判断いたしましたので、その面から教育委員会は出させていただけたと。

これはもう決しておっしゃるようにこれだけで終わるつもりは全然ございませんので、ほかにも海の博物館の関連とか、予算上見えにくいところもありますけれども、その辺は一生懸命やらせていただきたいと思っております。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 英語検定チャレンジ事業、国際的コミュニケーションの育成、これ何で小学校、中学校、小学校6年生、中学校2年生、中学校1年生の対象、小学校6年生と決めた内容は何で。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 新学習指導要領につきましては、平成32年度から小学校の英語教育が本格的に実施をされます。小学校5年生、6年生、週2時間実施をされます。現在におきましては移行期間ということで、その途中経過でございますが、そういったことも、国の流れ等も踏まえて、小学校英語のまとめの学年である小学校6年生を対象とさせていただきました。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 教育長にちょっと聞きたいんですけども、やっぱり国際観光文化都市という流れの中で、今鳥羽市が一生懸命頑張っているインバウンド事業なんかご存じやと思います。そういう絡みの中で、そういう連携のもと、教育長、学校教育課長のとき十二、三年前、東京の青山小学校へ行きましたよね。そのときは小学校1年生がiPad持って英語教育しておったと。国際化ですよ。

経験しておる中で、ここで国の流れがこうやというから、この英語検定の経費が出ておるのか何か知らんけれども、こら辺は教育長としてもちょっと前に1歩進んだような取り組みができへんだん。

○戸上 健委員長 教育長。

○小竹教育長 英検に取り組みを今年度から始めさせていただいておりますけれども、この予算は2年目ということで、文科省のほうも2020年度といいますと、来年度には中学校3年生で英検3級程度の英語力を持つ生徒を半分以上にしたいという指数目標を持っております。

結局英検3級といいますと、通常は我々としては中学校3年生で力をつけられる程度だというふうに考えております。そのためには、中学校1年生から5級、4級と順番に段階を追っていかなくてはいけないだろうというふうに考えたわけです。

そうしますと、中学校1年生のときにどうすれば5級を意欲を持って主体的に受けていただけるかということ、やっぱり小学校段階で検定の体験をすると。小学校の英検につきましてはジュニアということでして、級検定がないものですから、点数出てまいります。合格、不合格ないものがあるんですけども、その結果を見て、やったらできるということを生徒にも、それから先生のほうにも自信を持っていただいて、次のステージで、中学生で段階的に上の級を狙っていただきたいというのが我々のストーリーでございます。

それから、低学年のところへは、これは2020年度の新学習指導要領では、今、5、6年生に外国語活動が入っていますが、それ3、4年におります。5、6年生が外国語科という教科になるんですけども、したがって、学校の授業も低年齢化してまいりまして、小学生にも単語を書いたりというような内容が入ってまいります。その分、授業が厚くなりますので、今回英検しか出ておりませんが、授業内容につきましては、十分厚くなっていくというふうに思います。

このことで、英検につきまして、それがあるから英語の力がつくというのやなしに、それぞれが目標にもらって、主体的に自主的に英語を学べるような環境をつくっていただきたいというふうに考えて、今回の予算計上をさせていただきました。

以上でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱり国の事業の一環やということでやるのはいいんですけども、国際観光文化都市・鳥羽の将来を担う子供たちの国際的コミュニケーション力、こういうのをまず磨かな。何か英検事業をすることによって、鳥羽市の観光文化都市の流れをもっと高めたいんやという心があるならば、今言うた中身をどこでお金が入っておるか知らんけれども、小学校の低学年、そこはこれとやっぱり絡んで、そういう事業の整合性あるような取り組みにはなっておるんやね。

それが見えてきいひんもんで、どこにも。これだけ見ておるとやっぱりそうなる。だけど、うちの目的はそこに書いてあるように国際観光文化都市の鳥羽の担い手と。これを重視するならば、本来国が小学校6年生と言うておる前に、もうちょっと鳥羽独自性を教育長が出してもらわな。それを一番わかっているのは教育長や。期待しておきます。

以上。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 この部分、金額は下がっているんですけども、拡充というところは、31年度から中学1年生の希望者もここに入れようと、枠を広げようという解釈でよろしいですか。

○戸上 健委員長 教育長。

○小竹教育長 実際は、昨年度の予算計上させていただいたときに、小学校6年生と中学校2年生の全員受験の悉皆ということにさせていただいたんですけども、予算の残の中から、今回の予算と同じように中学校1年生も希望者には受けてもらえるというふうなことにいたしましたので、予算的には拡充しておりますけれども、昨年度とほぼ同じような形で計上させていただいているということでございます。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 じゃ、その辺の中身は30年度の決算で出てくるかと思うんですけども、じゃ30年度から、まず小学校6年生と2年生を全員対象として、執行する段階で残った分、余っている分で希望者どうぞということをやってもらったということなんですか。わかりました。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 寝屋子留学事業、これ、パンフレット作成25万8,000円、新たなものをつくるんですか。

○戸上 健委員長 武中課長補佐。

○武中課長補佐 教育委員会学校教育課、武中です。よろしくお願いします。

委員、質問のところのパンフレット等なんですが、例年つくらせてもらっていて、今年度のほうもまた申し込みの人数等を実施委員会のほうと諮らせてもらって、また新たなところでつくらせてもらう予定ではおります。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 中身どう変えるの。一緒なの。印刷するだけ、それとも中身を変えるの。

○戸上 健委員長 武中課長補佐。

○武中課長補佐 中身につきましては、募集人数等も変更があったりとか、内容で変更等も出てくるかと思いますので、その辺のほうを明記したものをつくらせてもらいますもので、中身は変わります。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱり来ておるわけやしさ、もう留学して。そこの家族や子供たちのこの1年間の取り組みをしっかりと入れた中もつくるのが大事で、誰がつくるか知らんけれども、そういう人らの意見聞かんと、おたくがしっかりと見て、子供たちの意見をやっぱり反映させたらな。そういうパンフレットにしたって。

今あるパンフレットは僕大分持っておるのさ、だけど、あれがいいとか悪いとかじゃなしに、やっぱり毎年それが一歩進むことによって見ばえがいいようにしたって。お願いします。

○戸上 健委員長 関連。

○山本哲也委員 関連じゃないです。新規です。いいですか。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 学校図書館の整備事業のところなんですけれども、今回中学校のところ新規でつけていただいておりますということで、ここでちょっと質問していいかわからないです。今年度、答志中学校のほうへいろいろと拝見させていったところ、図書館前に置いてあるパソコンがウィンドウズビスタのままやったんです。検索

するようなやつが。それも多分ここで、整備事業の中で何とかならんのかなとか、多分答志がそうやったということは結構ほかのところもパソコン的に、いまだにビスタを使っておるような状況がほかにもひよっとしたらあるんじゃないかなと思うので、その辺の整備ぐあいというのはどうなのか。今年度でそういうところというのは考えられなかったのかというところと、どこまでどのように把握しておられるかというところをちょっとお聞かせください。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 ここで予算計上しております学校図書館整備事業については、図書館に司書資格を有する方を派遣する委託事業のみの予算でございますので、今、委員言われました図書館用のパソコンについての予算等は入っていないのが現状であります。

貸し出しについて各学校、今、パソコン、バーコードで貸し出しをしているところがありますので、そのあたりについては、改めてこちらのほうからどういった機種を使っているかというのを確認させていただきたいというふうに思います。

○戸上 健委員長 山本委員、生涯学習課の管轄ですので、そこでまた聞いてください。

他にございませんか。

(「116ページって」の声あり)

(「まだ」の声あり)

○戸上 健委員長 議長、寝屋子の島留学事業ですけれども、先ほどの説明で、新年度新たに現在の1人から2人で3人になると。このあたりの評価についてご発言ございませんか。

○浜口一利議長 今、尾崎委員が言われたようなことをポスターに反映させるというのはいい方向だと思います。現に家族で来ている子供、小学校の子供が親しんでいる中で、ことしのポスターもたしかそんなあれやっとな。そんな形では入っていることは入っているもので、尾崎委員の言われるとおりちゃんとやっているということなので。

ポスターづくりについては評価したいと思いますが、離島留学生に対する情報発信というのはまだまだしっかりやってほしいと思っています。

○戸上 健委員長 学校教育課長、新入生は新1年生になるのでしょうか、転入生なのでしょうか、2人は。学校教育課長。

○岩本学校教育課長 新たに里親としてやって来るのは新6年生となります。県外から男子1名、女子1名の2名がやって来ます。

以上です。

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、続いて説明資料115ページ小学校教育振興事業から、118ページ学校給食運営事業(中央調理場)の範囲で、ご質疑はございませんか。

坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 116ページ、継続なんですけれども、友好都市の提携事業で、議員団も三田市さんとの交流で母子小学校に行かせていただいて、非常に小規模特認校ということで感銘して帰ってこさせていただきました。人数少ない中でも、すごいこういうふうにご子供たちが希望を持って、自分たちの郷土を愛して生活してい

るということをおぼくおぼせていたんですけれども、昨年は台風で中止になったということなので、その時期を避けて検討はされたんですでしょうか。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 今年度は8月台風時期で中止となりました。実は昨年度も中止となって、2年連続で台風で中止となっております。時期につきましては、どうしても学校単位、両方の学校で行いますので、夏休みの時期が一番都合がいいということで、授業のある時期ですと、なかなか都合が合わないということで、この時期にならざるを得ない状況がございます。

以上でございます。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員、天候だけはどうしようもないという。

○坂倉広子委員 そうですね。天候の加減ということですのでわかりましたけれども、ぜひまたことしこそは行っていただきたいなと思います。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 その関連なんですけれども、去年27万円についておったと思うんですけれども、そこ。今回13万円、対象の子供たちが減ったもので、これだけ予算が減ったんですか。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 母子小学校の子供たちがやって来る際の受け入れ態勢について若干人数が減っている部分もありますが、大きく変更しているところはないんですけれども、金額が減ったところについては、教員同士の交流で、鳥羽市の小学校の教員が母子小学校のほうへ出かけて行って、実際交流をするというものがありました。その交流の人数をことしは縮小させていただきましたので、そのあたりでの金額が下がっていると、大人の旅費の部分で下がっているということになっております。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 じゃ、母子小学校の子供たちに来てもらう分の事業に関しては昨年度並みということで。

○岩本学校教育課長 はい。

○河村 孝委員 わかりました。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

世古委員。

○世古安秀委員 115ページの一番下の外国語活動推進事業のところ。36万8,000円予算化されておりますけれども、昨年の11月でしたか、加茂小学校でこの研修会があって、私も参加させていただいて見させていただいたんですが、そのときのいろんな情報とか新聞とかも、やっぱり2020年から、再来年です、もう。平成32年から小学校で英語、外国語教科ということが始まるということで、非常にやっぱり小学校の教師の不安があるというふうな新聞紙上で報道されたりいろいろ出ていますけれども、そういうことに対しての取り組みとかというの、活動事業の中でもいろいろ検討しているのかどうか、その辺はちょっと教えてください。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 今、委員ご指摘いただいた点につきましては、モデル校事業としましては年間5回の研修会を予定しております。その研修会はモデル校となった、ことしであれば加茂小学校を会場として市内の小学校、それから中学校の英語教員の方にも参加をしていただいての研修会というふうになっております。

前段の2回につきましては、ALTの派遣会社等の専門家の方にクラスルームイングリッシュといて、授業の中でどんな英語を教員が使用していくか、こんな場合はこんな英語を使ってといてのを、具体的に練習も含めて授業形式で行うというような内容をさせていただきます。

委員おっしゃるように、小学校の先生は英語を教えるということは年齢が私ぐらいの方も含めて、そういうことを意識して教員免許をとってきたわけではございませんので、今、こういう時代になって不安があるというのは正直なところではあります、それを少しでも払拭するよといてということでこの事業を組んで、そういう英語になれ親しむような研修を前半で2回行いました。

後半については、委員も見ていただいた授業形式の研修といて、授業の具体的な姿を見て、加茂小学校の教員がする授業も見ながら、具体的な研修をさせていただきます取り組を今進めさせていただきます、そんなところですよ。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 ありがとうございます。やっぱり先生方、ちょっと不安なところがあるかと思うんですよ。それに対しても、いろんな研修を通じて不安の少しの解消になるよといていただきたいというふうに思います。

それと、先般11月に加茂小学校に行ったときに、私が感じたんですけども、やっぱりこの外国語、あれは4年生でしたので、外国語活動のALTの方々と担任の先生の方々とやりとりでしたんですね。ああいう中へぜひとも、やっぱりなかなか普段英語になれ親しむということが少ない子供たちですから、例えば映画とか、英語の映画、アニメとか、あるいは音楽とか、そういうのをうまく授業の中へ取り入れてすれば、すぐにABCという単語とかいろんなことにくんやなしに、そういうところも取り入れて徐々になれ親しんでいくということが私はいいかないかなというふうに思います。

提案としてちょっと考えていただきたいと思っております。

○戸上 健委員長 世古委員、予算審議の範囲内といて。

○世古安秀委員 わかりました。先ほどの冒頭に言うたことに関しては、昨年行ったの、そういうのをまたこともやりますよといてですので、ぜひ子供たちの英語教育に力を入れていただきたいというふうに思います。

○戸上 健委員長 要望ですよ。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないよといて、続いて生涯学習課に入りますけれども、ちょっと1時間立ちましたので、ここで15分まで休憩します。8分間休憩します。

(午後 2時07分 休憩)

(午後 2時15分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

続いて、生涯学習課の当初予算について審査を行います。

説明資料は119ページから123ページです。

担当課長の説明を求めるのですが、先に、今回の新年度予算の編成に当たり、事業の精査をしたり、工夫をしたところをお話いただき、そのまま説明に移ってください。

生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 生涯学習課、榎です。よろしくお願いします。

予算書のほうは118ページ、119ページからになります。説明資料のほうは119ページからお願いします。

生涯学習課の平成31年度の事業につきましては、これまでの事業の見直しも含め、新たに伸ばしていきたいところの予算についても計上させていただいております。

社会教育の分野では、子供たちの郷土学習の推進について、小学校4年生から6年生に配布している鳥羽歴史学習本とばっこ探偵団を使った郷土学習を平成30年度に引き続き取り組んでいきます。30年度は郷土学習の取り組み目標を持っていただくために、小学校4年生を対象に御木本幸吉と真珠でとばっこ検定を実施しました。31年度は4年生に加え5年生も検定を行いたいと思います。また、32年度には4年生から6年生の3学年で検定を行う予定で、段階的に取り組んでいきたいと思っております。

また、文化財調査事業において、三重大学の海女研究センターに委託する海女漁村の景観分析調査では、海女の住んでいる漁村の特徴を大学の知見を生かして学術的に調べることで、鳥羽市を訪れる方々に海女の存在や海女漁村の文化を詳しく紹介できることにつながる取り組みになると考えております。

スポーツ推進の分野では三重とこわか国体の開催に向けた取り組みについて、30年11月に国体実行委員会を設立し、関係団体等のご協力をいただきながら進めているところです。31年度は実行委員会で大会の運営や競技団体との調整、会場の配置計画など詳細部分の検討を深めていく予定です。

また、事業の見直し部分につきましては、市立化した海の博物館を、市民を初めより多くの方々に知っていただくため、観光、旅館、宿泊施設、学校、行政などさまざまな分野の方に参加していただき協力をいただきましたにぎわいづくり実行委員会について、本年度30年度での終了ということで考えております。

この実行委員会では竹あかりと月あかりを初め、umineや網走の流水、それから今開催しておりますお絵かき水族館などの幅広い活動についてご協力をいただいております。スタート部分でのにぎわいづくりについて、一定の期間取り組みましたことから、30年度で終了させていただきたいと思っております。

スポーツ分野につきましても、TOBAウォーク事業について、ウォーキングのまち鳥羽を推進するイベントとして平成26年度から5年間取り組んでまいりましたが、一定の期間取り組み、ウォーキングの推進にもつながったことから、30年度で終了させていただいております。ウォーキングのまち鳥羽の普及につきましては、次年度以降で中央公園運動施設や市民の森を中心に、市民や宿泊客を対象にした新たな形のものを計画していきたいと考えております。

それでは、予算書218ページ、219ページ、予算説明資料は119ページをお願いいたします。

款9教育費、項5社会教育費、目1社会教育総務費、予算書のほうでの説明欄1社会教育給与等管理費、社会教育事務局運営事業につきまして、事務局の人件費や生涯学習講座臨時職員賃金のほか、海の香りのする詩の実施費用など4,132万6,000円を計上しています。主に文化振興、生涯学習、青少年健全育成などを図るための職員人件費5名及び事務補助に当たる臨時職員2名の賃金等を計上しております。また、ふるさと創生基金を活用した海の香りのする詩の取り組みについても継続して行っていきます。

続きまして、予算説明資料同ページの2段目をお願いします。予算書は220ページ、221ページの説明欄2をごらんください。

人権教育推進事業につきましては、人権教育の推進のための指導員報酬のほか、研修、講演などの費用278万4,000円を計上しております。平成31年度は全国人権・同和研究大会が三重県で開催されることから、市内関係機関からの参加が多くなることを見込み、市人権教育研究協議会の補助金を昨年より18万円増額した41万円を計上しております。

続きまして、予算説明資料同ページ3段目、予算書も同ページの説明欄3をごらんください。

生涯学習推進事業につきましては、成人式の開催費用や人材育成講座「地球塾」、放課後子供教室の事業費用など211万8,000円を計上しています。このうち人材育成講座「地球塾」事業では、市民対象の一般講座を開講するほか、昨年小学校4年から6年を対象に配布した鳥羽歴史学習本「とぼっこ探偵団」を使い、海女、御木本幸吉、鳥羽城と九鬼嘉隆など郷土に関する学習を学校と連携して進めていきます。30年度は子供たちに学習の目標や意欲、自信を持っていただくため、小学4年生を対象に御木本幸吉と真珠についてのとぼっこ検定を実施しております。31年度は新たに5年生も実施し、その費用を計上しております。

また、学校での学習だけでなく、実物資料を見て郷土学習により興味を持ってもらうために、ミキモト真珠島様のご協力や市立海の博物館にも、希望校ですけれども、見学をしていただく予定です。郷土学習の成果をもとに、小中学生が来訪者にガイドする取り組みを発表する場として、30年度とぼっこガイドフェスティバルを開催しましたが、31年度も実施する費用を計上させていただいております。主な財源としましては、とぼっこ検定、ガイドフェスティバルの事業費用80万9,000円の2分の1、40万5,000円を地方創生推進交付金で充当する予定です。

続きまして、予算説明資料120ページの上段をお願いいたします。予算書のほうは220、221ページ下段から222、223ページをごらんください。

説明欄5社会教育団体補助事業につきましては、社会教育団体の活動に対し支援する費用として254万8,000円を計上しています。関係団体への助成につきましては、市文化協会への助成金を75万円増額した113万円を計上しております。これは、市文化会館大ホールが使用できなくなったことから、市民文化祭の芸能発表の部の代替会場として市民体育館を会場とするための費用を増額したものでございます。作品展示につきましては、これまでどおり現在の市文化会館の諸室のほうを利用する予定です。また、これまで47年間の長きにわたり、市の社会教育活動に活躍、貢献していただいていた鳥羽市婦人会連絡協議会が平成30年度で解散することになりましたことから、その助成額が減額となっております。

続きまして、目2公民館費です。予算説明資料は120ページ中段をごらんください。予算書は同ページ中段になります。

公民館維持管理事業につきましては、市内にある公民館施設の維持管理に必要な経費 873万7,000円を計上しています。今年度は工事請負費といたしまして屋内分館のトイレ洋式化及びくみ取り式便槽を合併浄化槽に変えるための費用として205万2,000円を計上しています。主な財源として公民館施設整備事業債、過疎債を予定しております。200万円を充当する予定でございます。また、31年度から公民館のある町内会より光熱水費の一部を納めていただく費用として、諸収入で12万2,000円を計上しております。

続きまして、目3図書館費です。予算説明資料は120ページ下段をごらんください。予算書は222、223ページから224、225ページになります。

目3図書館費につきましては3,794万5,000円を計上しております。予算説明資料の図書館運営事業につきましては、図書館の運営及び管理に係る経費のほか、図書の購入、文化講座などの経費として3,774万1,000円を計上しています。昨年比355万円の増額で、主な内容は、正職員の1名増員に係る人件費分の増加によるものです。

図書館の取り組みといたしましては、通常の図書館開館業務や講座講習会などの取り組みのほか、子ども読書活動推進計画に基づく読書推進活動として、各小中学校に訪問して本の紹介を行うブックトークの開催を引き続き行っていきます。また、平成元年に開館した現在の図書館の開館30周年記念事業として、図書貸し出しや図書館行事への参加ごとにポイントを付与し、達成した利用者に記念品をお渡しする読書推進図書館利用の増進を図る取り組みを実施します。その記念品費用14万3,000円を計上しております。

続きまして、予算書224、225ページ下段をごらんください。

目4補導センター費につきましては、青少年の非行防止と健全育成の環境づくりに努めるための事業経費として187万5,000円を計上しております。

続きまして、予算説明資料121ページの一番上をごらんください。予算書は226、227ページの上段をお願いいたします。

目5コミュニティ事業費、コミュニティアリーナ維持管理事業につきましては、答志、菅島、坂手、桃取の四つのコミュニティアリーナの管理に係る経費として358万7,000円を計上しております。主な費用といたしましては、答志コミュニティアリーナ指定管理の委託料のほか、菅島コミュニティアリーナのトイレ洋式化の費用として工事請負費70万9,000円を計上しております。工事の主な財源といたしましては、コミュニティアリーナ整備事業債、辺地債で70万円を充当する予定でございます。

予算書7ページをごらんください。

債務負担のほうですけれども、答志コミュニティアリーナの指定管理業務につきまして254万8,000円の限度額で、平成33年度までの債務負担を計上しております。

また、お戻りください。

次に、目6文化財保護費です。予算説明資料121ページの2段目からになります。予算書は226、227から228、229ページの上段をお願いいたします。

文化財保護事業では1,482万3,000円を計上しております。そのうち文化財保存推進事業では、旧鳥羽小学校の外壁の一部の修理を国の補助を活用して実施する旧鳥羽小学校校舎改修工事費用655万1,000円を計上しております。工事の主な財源として、国補助金443万4,000円のほか、文化財保存

推進事業債、過疎債を予定しておりますが、230万円を充当予定です。平成29年度、平成30年度は建物内部の1階、2階部分で耐震のための壁をつくる工事を行いました。これにより、建物の耐震は完了しましたので、これから外壁、屋根など外部の改修を進めていく予定でございますが、市の他の大規模事業、国の補助金等の状況を考えながら段階的、年次的に工事を進めていく予定でございます。

このほかに、海女文化の日本遺産認定を目指す取り組みを進めるため、文化庁との事前協議に係る旅費を計上し、志摩市と連携した活動をしていく予定です。

予算説明資料121ページの3段目をお願いします。文化財調査事業といたしましては383万円を計上しております。内容といたしましては、文化財調査嘱託職員人件費のほか、本年度は新たに図録「三島由紀夫と神島」を作成するほか、在庫がない状況となっている伊良子清白の家のパンフレットの再版費用として65万3,000円を計上しております。また、日本遺産認定にも関連する取り組みとして、海女のいる漁村の特徴的な景観を分析する海女漁村景観調査を三重大学海女研究センターと連携して行うための費用30万円を計上しております。パンフレットの増刷、海女漁村景観調査事業費の95万3,000円の主な財源といたしましては、2分の1の47万6,000円について国の地方創生推進交付金の充当を予定しております。

予算説明資料同ページ4段目の文化財収蔵展示施設運営管理費をごらんください。鳥羽大庄屋かどやの指定管理業務委託料207万1,000円を計上しております。平成29年度から3年間の指定管理者をかどや保存会としており、31年度は3年目になります。引き続き指定管理者を中心に、市民、観光客の文化交流の拠点として活用を図っていきたいと思います。

続きまして、予算説明資料は122ページの上段、予算書は228、229ページの2段目をごらんください。

目7博物館費、博物館運営事業として1,316万円を計上しております。海の博物館の指定管理業務委託料792万2,000円のほか、展示棟2棟のパッケージ消火設備と収蔵庫の自動火災報知設備を交換する工事費用として487万3,000円を計上しております。展示棟の消火設備に関しましては、これまで手押し型の小型ポンプ1台で対応しておりましたが、平成30年2月の消防点検の結果、小型ポンプ1台では不十分であると判定されましたことから、また、消防からは建物内にパッケージ型消火設備を設置することで条件を満たされるとの報告もいただきましたので、今回維持管理が容易で扱いやすく、少人数でも操作可能なパッケージ型消火設備を展示棟A、Bの建物内にそれぞれ設置する予算を計上しております。消火設備の主な財源といたしましては、工事費487万3,000円のうち480万円を市債充当で計上しております。過疎債での対応を予定しております。

また、三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センターが設置されている研究管理棟のインターネット環境を整備するための通信運搬費16万7,000円を計上しております。博物館運営事業に関連しまして、博物館内に三重大学伊勢志摩サテライトが開設され、人文学部を中心に海女研究センターが活動を開始しています。海女研究センターの重要事業として、海の博物館にある貴重な海女関連の写真資料を調査し、分類整理及び写真のデジタルアーカイブ化に取り組んでいただいているところです。次年度に向けて、連続して大学と連携した事業を実施し、海女文化の拠点施設として海の博物館の役割や活動をさらに深めていきたいと考えております。

続きまして、予算説明資料122ページの下段をお願いします。

項6保健体育費、目1保健体育総務費です。保健体育総務業務では、スポーツ機会の充実、スポーツ活動の環境づくりなどに努めるため、事務局人件費3名分、スポーツ推進委員等の報酬など2,127万9,000円を計上しています。平成31年度は、全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、地域スポーツの課題や方向性について話し合う全国スポーツ推進委員研究大会が11月に三重県で開催されることから、市のスポーツ推進委員20名分の参加費として、通常会費に加え特別会費6万円を計上しております。

次に、予算書230、231ページの中段をごらんください。予算説明資料は123ページの上段をお願いします。

目2保健体育振興費です。説明欄1の生涯スポーツ振興事業につきましては、主な経費といたしまして、運動学習能力等の向上を図るコーディネーショントレーニングの普及のための費用、レスリング、フェンシングのジュニア選手の育成支援事業、市体育協会補助金、市町対抗駅伝に係る費用のほか、国民体育大会に係る費用として1,962万円を計上しております。このうち、予算説明書の国民体育大会準備事業では、昨年11月に設立した三重とこわか国体鳥羽市実行委員会を中心に、国体視察や2021年の国体フェンシング競技開催に向けた競技会場の配置計画、仮施設などの開催会場の設計業務を行い、諸費用の算出に取り組みます。また、国体に向けて市内の機運を高めていくためのフェンシング競技の啓発事業や業務補助職員の人件費など457万1,000円を計上しております。主な財源といたしましては、ふるさと創生基金繰入金240万円を充当する予定でございます。

次に、予算説明資料の123ページの中段、予算書は232、233ページの説明欄3の友好都市提携事業をごらんください。

本市の友好都市である兵庫県三田市との交流推進のため、スポーツ交流を行う費用として28万6,000円を計上しております。30年度は鳥羽市から三田市へミニバスケットボールチームが訪問し、練習試合などの交流を行いました。31年度は三田市からミニバスケットボールチームに来ていただく予定で予算計上をしております。

予算説明資料の123ページの下段です。予算書は同ページになります。

目3保健体育施設費、運動施設管理運営事業につきましては、市民体育館及び中央公園運動施設の指定管理のための委託料のほか、施設修繕料として1,993万6,000円を計上しております。

予算書7ページをごらんください。

市運動施設の指定管理業務につきましては4,004万2,000円を限度額で、平成33年度までの債務負担を計上させていただいております。

以上が生涯学習課の予算説明になります。よろしく願いいたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。審査いただく範囲を指示します。

生涯学習課119ページの社会教育事務局運営事業から122ページ上段の博物館運営事業の範囲でご質問がございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 119ページの人材育成講座「地球塾」事業のところで、今年度とばっこ検定やっていただい

て、多分大きな反響を教育委員会自体ももらっておると思うんですけども、検定の公開、どういった検定内容やったかという部分で公開されていなかったと思うんですけども、公開する予定とかという部分はございますか。

○戸上 健委員長 村田係長。

○村田係長 生涯学習課の村田です。先ほどの山本委員の質問にお答えします。

検定のほうですけども、今まで2学期、3学期と学校で授業を進めていただいて、この2月にちょうど市内八つの小学校全てで4年生に検定を実施したところです。見事に全員合格ということで、本当に素晴らしい結果と、また、子供たちの反響も素晴らしいものでした。

この結果を子供たちだけの学習で確かに終わらせてしまう、一部の人間で終わらせてしまうのはもったいないと思っていますので、広報とばで、この子供たちが取り組んだという結果をお知らせするとともに、このような問題でしたというものをちょっと広報とばに載せて発信しようということで、今のところ準備を進めています。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 言いたかったのはほぼあれなんですけれども、親御さんとかという部分も、すごい受けてみたいわとかという声もようけ届いておるん違うかなというふうにも思いますし、実際、自分も実際受けてどうなんやろうというところもありますので、ぜひよかったらPDFとかでもホームページ公開していただいて、誰もが受けられるようなとか、検定ができるような状況にいただければ、そういった鳥羽肯定感の醸成にもさらにつながるのかなというふうに思うので、あくまでも対象は子供らというのは、僕はいいかなと思うんですけども、また、それ終わった後にぜひぜひ公開していただいて、鳥羽市民全員が検定をみずから受けられるような環境だけは整えておいていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○戸上 健委員長 井村委員。

○井村行夫委員 120ページの社会教育関係団体育成事業で、文化祭のステージのことなんですけれども、先ほど聞いたところによると、体育館のほうでというように決まったということなんですけど、ちょっとそこまでいく経緯というか、文化協会との話し合いもあったと思うんですけども、ちょっとお聞かせください。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 昨年12月に文化会館の大ホールが使用できなくなるということを受けまして、文化協会の理事会で次年度の文化祭をどのように開催するかという話し合いを持ちました。事務局からは近隣の文化祭が開催できるような施設をいろいろと当たりまして、理事会のほうに提案させていただきました。

その中で、一番費用的な面、それから交通的な面で市外開催の中で一番有力であったのが、昔の観文、今のシンフォニアになるんですか、昔の伊勢観光文化会館になると思うんですけども、あそこは駅前であり、施設も充実しているというところで、市外での開催であればそこというふうになりかけたんですけども、文化協会の意見としては、鳥羽市の文化祭は鳥羽市でやりたいという意見がありました。

鳥羽市でやるとなった場合に、旅館、宿泊施設等も見ましたが、ステージ的に大きなところがないという中で、体育館がこれまで経験した人もおるとのことなので、体育館でやるということで、理事会の中で

決めまして、その後、総会を諮りまして、これまでの検討の経緯というのを、いろいろと検討したけれども、鳥羽市の文化祭、芸能発表は鳥羽市内でやりたいという方向性で決定をしていただいたと。市民体育館を第1候補として開催するというので決定をしていただいたということの経緯でございます。

○戸上 健委員長 井村委員。

○井村行夫委員 体育館は体育館でございますので、それなりのホール機能というのがないわけで、そのときにこの会場の音響、機材というものを、ホールのないいわゆる舞台の設置のこととか、音響のこととか、いろいろ問題はあるんですけども、参加する文化協会の方々のご意見として、私ちょっとそこにおったんですけども、我慢する、ここで我慢するというようなことをおっしゃっていましたので、そこら辺が非常に皆さんも次のホールを期待しておるなというようなことも思っています。

ことはこういうような形で市民文化祭を体育館でというようなことで、非常に皆さんもここで我慢してやろうやという意気がそこでありましたので、ちょっとご報告させていただきますが、それについてどうですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 専用のホールではないということで、音楽、芸能発表するにはそういうご不便をおかけするところもあると思いますけれども、その辺のところも、文化協会としては理解した上で、今ある施設で最大限のことをしましょうというような前向きな話し合いをしていただいておりますので、体育館第1候補の中で、少しでも皆さんが楽しく発表できて、見ていただく方にも楽しんでいただけるような取り組みとさせていただきますと思います。

次に体育館の改修等も予定しておりますので、その体育館の改修等との折り合いもまたさせて、工事との進捗の折り合いもつけさせていただきながら開催をさせていただきたいという方向で決まっております。

○井村行夫委員 はい、わかりました。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 120ページ、公民館維持管理、これ屋内分館トイレ改修工事、高齢化が進む中、活動しやすさを後押しするトイレの洋式化工事をと書いてあるんですけども、これはどれぐらいの大きいトイレなんですか。

それはなぜかということ、これアリーナ、菅島、次のページにコミュニティの維持管理でトイレ同じ内容のような洋式化だと思うんですけども、この違いは何なんですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 公民館、それからコミュニティアリーナにつきましても、和式の便器がまだあるところがございます。菅島のコミュニティについても男子トイレが洋式化されていないところもありますので、便器の洋式化というのをこれまでも一遍にはできなかったものですから、年次的に段階的に取り組んでまいりました。

公民館の屋内分館につきましても、昨年から要望は出ておりましたけれども、ことはちょっと大明西分館のほうの洋式化と浄化槽の入れかえというのを工事させていただいて、その次ということで、次年度で計画させていただきますということで計上させていただきましたものがございます。

次年度以降につきましても、順次要望が出ているところから年次的に対応していきたいというふうに思っています。

○尾崎 幹委員 違うやん。聞いておるのは、この違いは何ですかと聞いておる。

75万円、同じ洋式化と書いてある中身の違いを教えてください。

○榎生涯学習課長 ごめんなさい、申しわけございません。

菅島に関しましては便器の取りかえ工事、それから屋内のほうは浄化槽のほうも含めたということで、申しわけございませんでした。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 今言われたように順番にやっておるわけですよ。やっとなり町に入っていたということの解釈でいいのかな。浄化槽からもう全部交換ということですね。これ、何人槽ですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 予算で要求させてもらったのは5人槽ということです。

○尾崎 幹委員 5人でこんなにかかる。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 5人槽ということは、課長、もうほんならこれトイレ全部、上も下もということやね。そういう解釈でええの。

5人槽で200万円はかからんわな、どこからにしても。一般の家庭で5人槽やったら幾らか知っていますか。上もしたという感覚、考えでいいのか。

○榎生涯学習課長 浄化槽と、それから便器、配管、それらの取りかえ、それと今の既設のものの撤去含めての費用になっております。

○尾崎 幹委員 ありがとう。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

河村委員。

○河村 孝委員 122ページ一番上ですね。博物館運営事業、2点お聞きします。

博物館の指定管理業務が昨年度と比べて22万円ほど上がっている理由が1点と、博物館運営協議会の31年度の開催予定回数を教えてください。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 博物館運営協議会のまず開催回数ですけれども、年2回ということで。すみません、ことは2回でしたけれども、次年度は1回を予定するというので考えております。

指定管理料に関しては、伊勢志摩サテライトの事業費とそれから消費税の部分を盛り込んだ内容になっております。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 指定管理料の部分はわかりました。

運営協議会を今年度2回やって、来年度1回に減らした理由というのは何ですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 いろいろ意見をいただいて、運営のほうに生かしていくという中で、1回の開催でかなりのご意見をいただいております。それらを達成しつつ、また次の開催のときには取り組んだ結果という形でまとめさせてもらうということで、2回というどうしても途中報告になってしまったりしますので、年1回の開催にさせていただきたいということで、今回お願いするものです。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 本来、これ立ち上がったときの計画というのは、生涯学習課が所管するというでなかなか経営という観点難しいだろうというところで、経営に関しては運営協議会にお任せするというようなスタンスで進んだと思うんですよ。

なかなかだから、企業を経営するということで、生涯学習課が今の人員でやるというのは難しい話、だから指定管理をするんだけど、じゃ、今の指定管理の業者が海の博物館の将来の方向性についてとか、そういうことを語るかというとなかなか難しいと思うので、そのための僕は運営協議会だと理解していたんだけど、途中経過も含めて、もう少し運営協議会を開催して、本当にこのままでいいのか、じゃ、もう少しこういうふうにしたほうがよくなるのではないかという議論は、やっぱりその都度その都度タイミングを見てやっていただきたいなと思うんですけども、いかがですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 定例的な委員会は1回というふうに考えますけれども、やはり重要事項等の案件がございましたら、運営協議会にも開催して、臨時的でも開催して諮っていきたいというふうには考えております。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 根本的に海の博物館がちゃんと人がふえて、見にきてもらう人がふえて、きっちり黒字化を目指すというところの方向に向いてもらわなきゃならないので、そういう意味では、なかなか僕は生涯学習課だけでは大変だと思うんです。もう課長手いっぱいやと思います、はっきり言って。

だからそういう人たちのお力もおかりして、どういうふうに改善したらビジネスとして成り立つのかということ、もう少し議論を煮詰めていただきたいなと。一応3年である程度の数字を見ると言っているわけなので。これ……。この先言わんときます。

何せいい方向を目指してください。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

ないようですので、続いて122ページ下段の保健体育総務業務から、123ページ運動施設管理運営事業の範囲でご質疑はございませんか。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ご質疑もないようですので、これで本日の審査を終了します。

引き続き、本日の振り返りを行いますので、執行部の皆さんは退席をお願いします。

(午後 2時53分 休憩)

(午後 2時55分 再開)

○戸上 健委員長 それでは、本日審査した範囲の振り返りを行います。

委員の皆さんで、取り上げたい事業等はありませんか。

まず、課別にいきます。観光課について取り上げたい事業、これについてご意見ください。

どうでしょうか。

私のほうから、こういった皆さんから出されて論点になったという点について、初めに列挙していきたいと思えますけれども、それでよろしいでしょうか。

まず、尾崎委員から夜間のタクシーですね、公共交通、これが鳥羽は非常に今ネックになっております。この改善が当然必要なんですけれども、この点について指摘があったけれども、これはなかなか観光課としては答弁がありませんでした。当然やというふうに思うんです。

やっぱり、これは企画財政課のほう、企画のほうが対応していく問題だというふうに思いますけれども、しかし、これは委員会で議論になった以上、観光と企画含めてこれは対応を強化していく必要があるということは委員会として提起していかなくやいかんのじゃないかというふうに思うんです。

それから、山本委員が提起したANAの広告400万円の効果なんですけれども、これは、答弁はかなりという非常に抽象的で、きちんと検証してこうした結果踏まえて400万円以上の、仮に倍なら800万円の効果があると。何万人の波及効果を期待しているんだと、そういうデータも別のところであるというふうに出してもらいたかったですけれども、これはありませんでした。ですから、この点については、検証方法について委員会としては言及していく必要があるのではないかというふうに思います。

それから、河村委員が指摘した漁観連携でのアワビの健康効果検証ですけれども、巷間よく言われている…。

世古さん、何か質問あります。初め、僕がずっと言っていますもので、後からご指摘ください。

課長補佐が答弁していたのは、妊婦がアワビを食べると目のきれいな子が産まれるとか、何かそういう言い伝えのようなものを言うておったんやったかな。

(「伝承、言い伝えの部分でという話」の声あり)

○戸上 健委員長 そういうことやったな。これも、データとなるアワビの研究について河村委員から要望が出ていました。

それから、世古さんから海女体験ですね。これは県も非常に注目しているので、連携して来年度へ取り組みを進めたいと。海女さんと海藻に関する意見だったというふうに思うんです。

それから、意見が集中したのが、論点となったのがフランスへ行って、800万円だけれども、果たして効果と、それからどういう中身でやるんだということだったたというふうに思うんです。もう一つイメージ図というのが出れば、僕らとしてもよりリアルにわかったというふうに思うんですけれども、まだまだそこまではいきませんでした。当局としてもまだまだ具体的に煮詰まっていないんだと、執行部としてもね、いうふうに思いました。

まず、予算計上して、そして市長と職員2人、それから観光協会のメンバーと行くということでしたので、委員会としては、これ、海女さんが行かないと話にならんのではないかと、尾崎委員からさんざんぜひという

ことが出ていましたけれども、やっぱり海女さんのスタイルでフランスへ行けば、メディアの報道というのも相当センセーショナルになるんじゃないかと僕は思うんですけども、僕もちょっと外国のことはさっぱりわかりませんものであれですけども、この点についても委員会で議論になったところです。

そして、長い目で見た第1歩と、海外戦略の。それ見ていいのかという山本委員の意見に対して、そうだという答弁でした。委員会としては鳥羽市としての取り組むこういうスタンスというのは非常に結構なこと何だけれども、積極性は結構なことなんだけれども、伊勢志摩全体で取り組んでもらいたいという要望もありました。

ざっと私が感じた観光の面では以上なんですけれども、皆さんのほうで、もっとこの論点深めたいというのがあれば出していただきたいと思います。

世古さん、何かございましたでしょうか。

○世古安秀委員 私が、3番目に言われたアワビのことで健康というふうなところでの、さっき課長補佐が答弁あったように、雄と雌のアワビを食べると目のきれいな子供ができるというののいろいろ言い伝えがあるんですよ。妊婦さんには産後の肥立ちがよくなるかというふうなことがあるもので、そういうのを本当は実証的に研究で養分の分析とか、そういうふうなのをして出せば、もっとアワビ自体も情報発信もできるかなというふうなところを考えて、ちょっと話させていただいたというところです。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員、子育て支援策の一環として、赤ちゃんが産まれるお嫁さんには、アワビ1個ぐらい進呈しても、そういう政策があってもいいかと思うけれども、どうぞ目のきれいな子を産んでくださいと。

○坂倉広子委員 それこそ漁観連携じゃないけれども、妊婦さんと漁観連携。

(「子育て応援とか」の声あり)

○河村 孝委員 ちょっといいですか。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 ちょっと余談でいいですか。大学で例えばそういうのを研究してもらいたいことよりも、先人の知恵であると、じいちゃん、ばあちゃんの言い伝えみたいな、そういうスタンスの捉え方のほうがいいのではないのかなと、僕はその物語的にはね。

(「伝説」の声あり)

○河村 孝委員 そう、伝説みたいなおとこ。

○戸上 健委員長 栄養素とかそんなんを分析せんならんもんな。

○河村 孝委員 だから、それはすごく大変な作業というか、それよりもそういう昔からの言い伝えがあつてというほうが、観光という切り口でいけば、物語としてはおもしろいのではないのかなと、僕は。あくまでも言い伝えがあるよというスタンスのほうがいいのではないのかなと思いますけれども、私は。

○戸上 健委員長 アワビもそうですけれども、鳥羽の特産物でいろんないい言い伝えがあれば、それをちょっと研究してまとめてくれと、委員会としては要望するということとどめておきたいというふうに思います、この点は。

あと、いかがでしょうか。

論点としては、そんなに、これは言いたいと。委員長報告にもこれはぜひ盛り込んでもらいたいというのがあれば、ご指摘いただきたいというふうに思うんですけれども、よろしいか。

○河村 孝委員 委員長、1点だけいいですか。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 観光課長、わかってきていたものであれなんですけれども、山本委員の指摘で、今回単発じゃなくて、これを続けていくことが大事やというところを山本委員が指摘していたと思うんですけれども、全くそのとおりだと思っていて、これが第2弾、第3弾というところが引き続き出てくるかと思うんです。

その辺は議会として、そこを継続していくことを応援するというスタンスでよろしいのじゃないのかなと思うんですけれども。

○戸上 健委員長 予算が非常に厳しいというのを各課長が冒頭のリード部分で触れた点ですけれども、この800万円というのはちょっと今回の全体の予算の中では大盤振る舞いとは言えないけれども、思い切った予算措置やと思うんです。それで第1歩を踏み出したということですので、これ、来年度からふやすということになると、市長と職員2人で800万円だから、もっと使節団ということになると、それこそ尾崎委員が言った3,000万円ぐらいというふうに膨れ上がってくるんじゃないかというふうに思うんです。議会としても、そのあたりの予算措置については拡充、強化していくようにという点で努めたいというふうに思います。

よろしいか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、建設課ですけれども、建設課も冒頭課長が市民サービスが低下することのないよう課全体で取り組んでいきたいというけなげな発言をしました。

それで、空き家の活用ですね。件数が下がっていると、河村さんから指摘がありましたけれども、空き家はどんどん鳥羽市内でふえているのに、予算計上されたものが対応件数が減っているじゃないかという、これは核心をついた指摘だったというふうに思うんです。

担当課の答弁によると、そういうふうに市場ベースに乗るやつは民間でやっていって、あともう箸にも棒にもかからないようなものが残ってきて、それを市のほうが担当しておるもので、非常に大変なんだというふうなことでした。

さもあらんとも僕は思うんですけれども、こういう点の指摘、それから職員の研修ですね。前年は2人研修に行つて。これは非常に勉強になったというふうに思うんです。決算の審査の中でも、もっと職員がいろんな分野で勉強して、研修して、他の先進自治体から学んできて、鳥羽市に生かしてもらいたいということを強調されておりました。これについては、予算カットのあおりで日帰りで行ける範囲を他の予算の中に盛り込んでいるというのが、課長の、これも苦しい答弁でした。

このあたりは委員会としてどうするかやな。

誰かご意見ございませんか。

片岡さん、何か。

○片岡直博委員 ありません。

○戸上 健委員長 特にごございませんか、建設課。

(「ありません」の声あり)

○戸上 健委員長 そしたら、これちょっと委員長にらせていただくことにしたいというふうに思います。

次に、消防です。

消防も、僕も冒頭からびっくりしたんだけど、防火服や消火ホース、特に防火服というのは消防署員にとって、現場へ行く人にとっては命にかかわることやけれども、それが本来要る服数の半分しか予算要求しなかったと。ここのあたりも今年度予算の厳しさというのが、僕はエピソードとして端的にあらわれているんじゃないかというふうに思いました。

それから、署員数ですね。これについても、皆さんからご指摘がありました。副市長の答弁で、職員全体は職員管理計画で漸減の中で消防職員だけはプラス5名にしているということを言うていましたけれども、しかし、本来必要な人数からはまだまだ足りないということは明らかになっております。でも、副市長は引き続き何とかふやしたいという気持ちはあると。ここまでしか答弁はできないのじゃないかと僕も思いましたけれども、そういう答弁でした。

それから、定数の問題がありますね。

それから、尾崎委員から格納庫、これはほかの議員の皆さんも各地から聞いていらっしゃるというふうに思うんですけども、本当に格納庫を早く整備してくれという、やっぱり非常に強いものがあります。この答弁も消防庁舎、これを4億円、5億円のお金をかけてつくらんならんもので、格納庫というのはどうしても後回しにならざるを得ませんでしたと、苦しい答弁でした。これもいたし方ないというふうには思うんですけども、このあたり、皆さんのほうから何かご意見はありませんか。

尾崎委員、格納庫。

○尾崎 幹委員 それにしても、これは本当に考えていかな。

○戸上 健委員長 金出してくれるかという話になるのか。

○尾崎 幹委員 そうそう。金をと云ったらいいんやで。それしかない。

○戸上 健委員長 浜口議長。

○浜口一利議長 今の離島救急患者搬送費補助事業、これについては今のところこれでもういいことだとは思いますが、本来ですと、この先を少し考えてほしいなという要望はあるわけなんですけれども、ミハラシにいったような部分というのはこれからの課題かなというところは、やはり何か考えてほしいなという、そのような実態があるということだけ。これは今すぐやれとかということはなかなか言えないんですけども、考えてほしいなというぐらいでとどめておきたいと思っておりますけれども。

○戸上 健委員長 予算全体として……

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 それに関して、離島ですから、本土とのやっぱり格差みたいなものができておるわけですよ。だから、これ補助金ついておるわけやけれども、これ自体が一般財源で鳥羽市だけの問題じゃないんですよ。日本国の三重県の鳥羽市と考えていかないかんのが本来の社会保障ですよ。

そうやってきたら、これに関しては国も県も補助を出すべきなんです。日本全国出ておるか調べたら出ていますから。東京都なんかは出ておるんですよ。その違いをやっぱり僕らは追及していくのが本来の形なんです。

すけれども。

(「出ているのはわかっています」の声あり)

○尾崎 幹委員 出てるでしょう。僕も……

(「そういう事業はいろいろあるというのはわかっています」の声あり)

○尾崎 幹委員 それで、うちはそれを消防費で出しておるならば、消防署はやっぱりとりにいかな。一言でも言うたら10万円でも出たら上がるわけですよ。それが次につながっていくという考え方をやっぱり持ってもらうな。

○浜口一利議長 本来、まだこの先のことを考えてほしいというのは強く要望したいわけなんですけれどもという前置きがあるわけなので、私の言いたいのは、言われるのはよくわかるけどです。

○尾崎 幹委員 議長に言うとの違うんですよ。

○浜口一利議長 私もそう言いたい。

○尾崎 幹委員 そういう取り組みを本来は消防にはしていただきたいということです。

(「考えてほしいということね。それは同じ」の声あり)

○尾崎 幹委員 出てるのやで。

○戸上 健委員長 それは彼らも一生懸命やっておるんやろうけれども、どうしても一般財源が3分の1ぐらい要ることになってくるもので。

○尾崎 幹委員 一般財源からこのまま出てるということは、減らさざるを得ませんよ。財政規模も小さくなっておるんですよ、うちは。

(「補正で上げるとは言っている」の声あり)

○尾崎 幹委員 そやけど、これに関しては、やっぱり鳥羽以外のところから持ってくるような努力を一つでも二つでも、先進事例がありますから、ちゃんと調べてもうたら。

ただ、財源のあるところはこんなものはいっぱい出てくるわけですよ。財源がないからよそにいただくようにしていかな。

何でも自分のところでしょうと思っているのが間違いなんです。そこは議員さん頑張ってください。

○戸上 健委員長 このあたりは国、県へ。もっとも鳥羽のような離島を抱えた金のない小さな自治体に対して、目配りをもっとしてもらわないかんということやというふうに思いますもので、そのあたりも付記しながら書くというふうにしたいと思います。

それから、ちょっと1点忘れちゃったけれども、先ほどの観光課の点で、フランスの財源ですけども、国際化協会助成金、これを初めて400万円とったということについては、委員会としては評価してもいいんじゃないかというふうに思いますけれども。

消防それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、教育委員会ですけども、全部まとめて教育委員会として皆さん方で議論していただきたい点を出してほしいというふうに思うんですが。

(「教育こそ温度差のない、隔たりのないやっぱり教育にしてもらわんと」の声あり)

○戸上 健委員長 特に皆さんで突っ込まれたというか、問題意識が鮮明になったというのは、一つは自己肯定感を大切にするという、学校教育課長が冒頭言いましたけれども、自己肯定感とコミュニケーション力、この育成に努めたいということでした。それに見合うような予算編成になったのかどうかというところが勘どころだったというふうに思いました。

それで、自己肯定感では図書館の司書の配置、これを中学校まで拡大したんだということを言うていました。これに対して、果たしてそれが鳥羽高のあれにもかかわってきますけれども、結びつくのかという疑問も示されたところです。

それから、寝屋子の島留学についても、これは1人から3人にふえて、新しい人が新6年生だということでしたので、分野的には拡大があったというふうに思います。

それから、とぼっこ検定については、市民全体に関心が高いので、山本委員から提案のあったような、もっと市民全体で上げていけたらどうかという問題提起がありました。これも非常に大事な点ですもので、委員会としては、委員長報告では指摘しておけばというふうに思います。

そのほか、委員の皆さんで教育委員会、これはぜひ大事だったという点があれば、出していただきたいと思えます。

よろしいか。

もし、また家に帰られて、ちょっと一服されてから気がつかれたということがあれば、また、事務局のほうへメールで送っておいてください。

あと最終日に、また、全体をまとめて、委員長報告について取り上げるか否かということをお皆さんに諮りますので、そのときに取捨選択をよろしくお願ひしたいというふうに思えます。

あと、議長、よろしいか。

○浜口一利議長 はい、いいです。

○戸上 健委員長 あす、3月19日も午前10時から予算決算常任委員会を再開し、特別会計及び企業会計の当初予算審査を行いますので、定刻までにご参集願ひます。

本日はこれもちまして散会します。お疲れさまでした。

(午後 3時18分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成31年3月18日

予算決算常任委員長 戸 上 健